

平成 30 年 度

事 業 概 要

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県支部

日本赤十字社 ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

この事業概要は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの業務などについて収録した。

目 次

1. 役員等	1
2. 評議員会・監査等	3
3. 地区・分区関係	5
4. 活動資金の収納状況	8
5. 国際活動	11
6. 災害救護事業等	13
7. 救急法・健康生活支援講習等の普及	27
8. 赤十字奉仕団等	45
9. 青少年赤十字（J R C）	67
10. 社旨普及	72
11. 医療事業	74
12. 血液事業	79
13. 乳児院の運営	85
14. 日本赤十字社秋田県支部現勢	87

1. 役員等

(平成31年 3 月31日現在)

1. 支部役員・本社理事並びに代議員

役 職 名	氏 名
支 部 長	佐 竹 敬 久
副 支 部 長	堀 井 啓 一
	穂 積 志
監 査 委 員	新 谷 明 弘
	斉 藤 永 吉
理 事 ・ 代 議 員	佐々木 義 広
代 議 員	野 口 良 孝
	三 戸 俊 彦
	江 畑 佳 明

2. 評議員

地 区 別	氏 名
鹿 角 市	石 井 勲
大 館 市	日 景 隆
	櫻 田 玲 子
北 秋 田 市	津 谷 永 光
能 代 市	齊 藤 滋 宣
男 鹿 市	菅 原 広 二
潟 上 市	藤 原 一 成
秋 田 市	野 口 良 孝
	黒 崎 義 雄
	渡 邊 達 夫
	加 藤 廣 征
	川 村 豊 太
由 利 本 荘 市	長谷部 誠
	佐々木 保 之
に か ほ 市	佐 藤 耕 一
大 仙 市	久 米 正 雄
	高 橋 トモ子
仙 北 市	武 藤 次 雄
横 手 市	高 橋 大
	佐々木 義 広
湯 沢 市	鈴 木 俊 夫
北	小 林 悦 次
山 本	田 川 政 幸
中 央	齋 藤 多 聞
南	安 藤 豊
支 部 長 選 出	眞井田 恭 雄
	小 玉 喜久子
	三 戸 俊 彦
	江 畑 佳 明

3. 赤十字奉仕団秋田県支部委員会委員

(平成31年 3 月31日現在)

役職名	氏 名	所属奉仕団	選 出 区 分
委 員 長	小 玉 喜久子	潟上市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	中 嶋 洋 子	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	
	高 橋 知 子	秋田市赤十字奉仕団	
	高 橋 トモ子	大仙市中仙赤十字奉仕団	
	八 代 千 春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委 員	小 栗 將 子	能代市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	小棚木 美和子	横手市赤十字奉仕団	
	櫻 田 玲 子	大館市赤十字奉仕団	
	三 森 ハ マ	由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	
	吉 田 萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北 村 ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	佐 藤 志保子	鹿角市赤十字奉仕団	
	村 上 和 美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	門 脇 トキヨ	仙北市西木町赤十字奉仕団	
	宮 崎 幸 子	小坂町赤十字奉仕団	
	淡 路 高 江	藤里町赤十字奉仕団	
	工 藤 佳	五城目町赤十字奉仕団	
	森 元 博 美	美郷町赤十字奉仕団	
	三 浦 泰 輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会長
	鈴 木 敦 子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	小 野 敏実都	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石 川 和 男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	畠 山 邦 男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田 口 昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	眞井田 恭 雄	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	

2. 評議員会・監査等

1. 評議員会

評議員会を次のとおり開催した。

(1) 第1回目

期 日 6月8日

会 場 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」

出席評議員 18名

報告事項

- ・平成29年度一般会計歳入歳出補正予算

審 議

- ・議案第1号 平成29年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 平成29年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 平成29年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算

監査報告

- ・議案第4号 副支部長の選出

※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。

※議案第4号、副支部長の選出については、堀井 啓一氏、穂積 志氏が選出された。

(2) 第2回目

期 日 2月4日

会 場 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」

出席評議員 17名

審 議

- ・議案第1号 日本赤十字社代議員の選出
- ・議案第2号 平成30年度一般会計歳入歳出補正予算
- ・議案第3号 平成30年度社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第4号 平成31年度事業計画
- ・議案第5号 平成31年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第6号 平成31年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第7号 平成31年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算

※議案第 1 号、日本赤十字社代議員の選出については、佐々木義広氏、野口良孝氏、三戸俊彦氏、江畑佳明氏が選出された。

※議案第 2 号から議案第 7 号までは原案どおり承認された。

2. 監査等

(1) 支部監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5 月23日	支 部 研 修 室	支部監査委員
乳 児 院			
血 液 セ ン タ ー			
病 院	5 月24日	病院福利厚生棟会議室	

(2) 会計調査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
病 院	10月17日	病院福利厚生棟会議室	税理士（2 人）
支 部	11月15日	支 部 研 修 室	
乳 児 院		乳 児 院 会 議 室	

3. 地区・分区関係

1. 地区・分区の概況

(平成31年 3 月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名 称	電話番号
秋 田 市	穂 積 志	市 長	福祉総務課	018-888-5661
能 代 市	齊 藤 滋 宣	市 長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横 手 市	高 橋 大	市 長	社会福祉課	0182-35-2132
大 館 市	福 原 淳 嗣	市 長	福祉課	0186-42-8100
男 鹿 市	菅 原 広 二	市 長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯 沢 市	鈴 木 俊 夫	市 長	福祉課	0183-73-2111
鹿 角 市	児 玉 一	市 長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	長谷部 誠	市 長	福祉支援課	0184-24-6315
潟 上 市	藤 原 一 成	市 長	社会福祉課	018-853-5314
大 仙 市	老 松 博 行	市 長	社会福祉課	0187-63-1111
北 秋 田 市	津 谷 永 光	市 長	福祉課	0186-62-6637
に か ほ 市	市 川 雄 次	市 長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙 北 市	門 脇 光 浩	市 長	社会福祉協議会	0187-52-1624
小 坂 町	細 越 満	町 長	町民課	0186-29-3925
上小阿仁村	小 林 悦 次	村 長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤 里 町	佐々木 文 明	町 長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三 種 町	田 川 政 幸	町 長	福祉課	0185-85-2190
八 峰 町	森 田 新一郎	町 長	福祉保健課	0185-76-4608
五 城 目 町	渡 邊 彦兵衛	町 長	社会福祉協議会	018-852-5192
八 郎 潟 町	畠 山 菊 夫	町 長	社会福祉協議会	018-875-3871
井 川 町	斎 藤 多 聞	町 長	社会福祉協議会	018-874-2611
大 潟 村	高 橋 浩 人	村 長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美 郷 町	松 田 知 己	町 長	福祉保健課	0187-84-4907
羽 後 町	安 藤 豊	町 長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東 成 瀬 村	佐々木 哲 男	村 長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	岡 本 時 彦	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山 本	武 藤 順 洋	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中 央	長 岐 武 彦	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	村 越 勇	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2. 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4月11日
 会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
 出席者数 52人
 議 題 等 ・DVD「赤十字この1年」
 ・平成29年度秋田県支部事業概要
 ・平成30年度事業計画

(2) 新理事務担当者研修会

期 日 8月3日
 会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
 出席者数 16人
 研修内容 ・DVD「日本赤十字社法制定50年の歩み」
 ・講話「赤十字について」
 ・赤十字講習研修
 ・実務研修

(3) 所管課長会議

期 日 12月4日
 会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
 出席者数 13人
 議 題 等 ・平成30年度秋田県支部概況
 ・平成31年度事業計画概要

(4) 地区・分区主催会議、研修会等への出席

主 催	期 日	会 議 名 等	会 場	出席者数	備 考
秋 田 市	4月16日	日赤秋田市地区 評議員会	秋田市役所 正庁	8人	・赤十字増強運動について
	4月24日	日赤秋田市地区 協議会	協働大町ビル	88人	・赤十字増強運動について ・秋田県支部の活動状況について
	11月1日 ～2日	日赤秋田市地区 役員研修	日赤福島県支部	6人	・福島県支部の活動状況について
	1月30日	日赤秋田市地区 分区長研修会	秋田県社会福祉会館	29人	・赤十字事業について
大 仙 市	4月27日	日赤大仙市地区 赤十字増強運動 説明会	大仙市役所 大会議室	33人	・秋田県支部の活動状況について ・赤十字増強運動について

3. 全国赤十字大会参会・本社研修等

(1) 本社研修

期 日 5月15日
会 場 日本赤十字社 クロスラウンジ
出席者数 16人
研修内容 ・本社職員講話
・本社見学

(2) 全国赤十字大会

大会名称 平成30年 全国赤十字大会
期 日 5月16日
会 場 東京都渋谷区「明治神宮会館」
参 会 者 22人
本社理事 1人
副支部長 1人
寄付者 11人（個人3・法人8）
秋田県赤十字有功会 1人
施設職員 3人 支部職員 4人 その他 1人
大会内容 プロローグ 「赤十字この1年」上映
式 典 名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご臨場
「国歌」斉唱
社長あいさつ
有功章ご授与
社長表彰
厚生労働大臣祝辞
実践活動の報告
「あこがれの赤十字」合唱
名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご退場
アトラクション 岩崎宏美コンサート

4. 活動資金の収納状況

1. 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		29年度実績 人	30年度実績 人	増 減 円	29年度実績 円	30年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	19,541	19,277	△ 264	25,277,819	24,844,967	△ 432,852
2	能 代 市	6,899	6,490	△ 409	6,586,000	6,303,150	△ 282,850
3	横 手 市	15,694	15,047	△ 647	13,661,195	13,506,010	△ 155,185
4	大 館 市	9,844	9,563	△ 281	7,768,125	7,493,075	△ 275,050
5	男 鹿 市	8,955	8,853	△ 102	6,427,650	6,282,000	△ 145,650
6	湯 沢 市	13,370	13,106	△ 264	6,756,515	6,590,136	△ 166,379
7	鹿 角 市	8,576	8,576	0	4,635,500	4,630,300	△ 5,200
8	由利本荘市	19,825	19,619	△ 206	14,280,100	14,136,400	△ 143,700
9	潟 上 市	4,801	4,097	△ 704	4,289,850	4,239,640	△ 50,210
10	大 仙 市	19,357	19,288	△ 69	15,436,530	14,435,550	△ 1,000,980
11	北 秋 田 市	8,482	8,447	△ 35	6,748,400	6,663,950	△ 84,450
12	にかほ市	7,376	7,250	△ 126	5,264,338	5,178,600	△ 85,738
13	仙 北 市	7,068	6,964	△ 104	5,542,352	5,490,151	△ 52,201
14	小 坂 町	1,816	1,784	△ 32	1,258,500	1,215,800	△ 42,700
15	上小阿仁村	712	686	△ 26	584,200	563,600	△ 20,600
16	藤 里 町	1,108	1,080	△ 28	822,100	799,300	△ 22,800
17	三 種 町	4,703	4,667	△ 36	3,977,410	3,921,000	△ 56,410
18	八 峰 町	2,520	2,503	△ 17	1,769,000	1,750,400	△ 18,600
19	五 城 目 町	2,989	2,926	△ 63	2,428,302	2,375,207	△ 53,095
20	八 郎 潟 町	1,892	1,865	△ 27	1,457,000	1,429,900	△ 27,100
21	井 川 町	1,331	1,330	△ 1	952,000	952,900	900
22	大 潟 村	807	811	4	585,400	595,900	10,500
23	美 郷 町	4,944	4,881	△ 63	4,874,600	4,826,100	△ 48,500
24	羽 後 町	4,149	4,299	150	2,822,450	2,773,650	△ 48,800
25	東成瀬村	743	750	7	731,700	727,400	△ 4,300
	計	177,502	174,159	△ 3,343	144,937,036	141,725,086	△ 3,211,950
	支 部 扱	1,029	1,022	△ 7	9,233,163	7,845,519	△ 1,387,644
総 計		178,531	175,181	△ 3,350	154,170,199	149,570,605	△ 4,599,594

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区 分		会 員 数 等				寄付 件数 件	活 動 資 金 額				
		目標会員数(A) 人	30年度実績(B) 人	千円以上 会員実績(C) 人	C／B %		目標額(D) 円	会 費(E) 円	寄付金(F) 円	活動資金実績 (E＋F) 円	平均会費額 (E／B) 円
1	秋 田 市	18,032	19,277	4,271	22.2%	12,209	26,551,000	15,131,332	9,713,635	24,844,967	785
2	能 代 市	7,650	6,490	208	3.2%	359	7,162,600	3,706,000	2,597,150	6,303,150	571
3	横 手 市	17,158	15,047	539	3.6%	363	14,298,100	10,558,250	2,947,760	13,506,010	702
4	大 館 市	10,751	9,563	947	9.9%	92	8,878,700	5,773,800	1,719,275	7,493,075	604
5	男 鹿 市	9,053	8,853	1,121	12.7%	2	6,627,800	6,281,600	400	6,282,000	710
6	湯 沢 市	13,897	13,106	3	0.0%	0	7,014,600	6,590,136	0	6,590,136	503
7	鹿 角 市	8,923	8,576	509	5.9%	14	4,868,000	4,626,900	3,400	4,630,300	540
8	由利本荘市	18,853	19,619	1,829	9.3%	34	14,731,800	14,101,000	35,400	14,136,400	719
9	潟 上 市	5,178	4,097	123	3.0%	401	4,432,800	2,290,600	1,949,040	4,239,640	559
10	大 仙 市	20,231	19,288	6,593	34.2%	213	15,440,000	14,374,400	61,150	14,435,550	745
11	北秋田市	8,892	8,447	3,234	38.3%	76	7,022,700	6,647,300	16,650	6,663,950	787
12	にかほ市	7,545	7,250	15	0.2%	251	5,388,500	5,042,400	136,200	5,178,600	696
13	仙 北 市	7,321	6,964	3,027	43.5%	71	5,785,400	5,463,000	27,151	5,490,151	784
14	小 坂 町	1,883	1,784	72	4.0%	58	1,306,900	1,192,600	23,200	1,215,800	668
15	上小阿仁村	752	686	284	41.4%	0	620,500	563,600	0	563,600	822
16	藤 里 町	1,145	1,080	121	11.2%	0	860,500	799,300	0	799,300	740
17	三 種 町	4,932	4,667	2,344	50.2%	11	4,254,300	3,917,900	3,100	3,921,000	839
18	八 峰 町	2,586	2,503	6	0.2%	0	1,815,200	1,750,400	0	1,750,400	699
19	五城目町	3,196	2,926	9	0.3%	53	2,571,200	2,354,600	20,607	2,375,207	805
20	八郎潟町	1,897	1,865	98	5.3%	0	1,452,000	1,429,900	0	1,429,900	767
21	井 川 町	1,416	1,330	212	15.9%	0	1,051,300	952,900	0	952,900	716
22	大 潟 村	802	811	44	5.4%	0	639,200	595,900	0	595,900	735
23	美 郷 町	5,059	4,881	4,702	96.3%	8	4,985,400	4,822,700	3,400	4,826,100	988
24	羽 後 町	4,100	4,299	1	0.0%	0	2,863,700	2,773,650	0	2,773,650	645
25	東成瀬村	765	750	572	76.3%	0	744,100	727,400	0	727,400	970
	計	182,017	174,159	30,884	17.7%	14,215	151,366,300	122,467,568	19,257,518	141,725,086	703
	支 部 扱	0	1,022	726	71.0%	63	0	5,372,254	2,473,265	7,845,519	5,257
総	計	182,017	178,181	31,610	18.0%	14,278	151,366,300	127,839,822	21,730,783	149,570,605	730

2. 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数 社	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数 社	割 合 %
699	20,158,857	100万円以上	2	0.30
		50万円以上	1	0.15
		20万円以上	8	1.14
		10万円以上	13	1.86
		5 万円以上	19	2.72
		3 万円以上	286	40.91
		1 万円以上	305	43.63
		1 万円未満	65	9.29

3. 過去5年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	会 員 数 人	前 年 度 比 %
26	155,481,974	98.0	190,007	98.4
27	158,353,216	101.8	181,085	95.3
28	150,507,028	95.0	181,004	100.0
29	154,170,199	107.3	178,531	98.6
30	149,570,605	91.5	175,181	98.1

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	法 人 数 社	前 年 度 比 %
26	10,174,704	100.3	539	105.3
27	11,713,635	115.1	536	99.4
28	15,664,698	133.7	628	117.2
29	19,925,047	127.2	610	97.1
30	20,158,857	101.2	699	114.6

5. 国 際 活 動

1. 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している3カ国に対する「救急法普及支援事業」並びに学校等における衛生環境改善や災害リスク軽減のニーズが高い2カ国に対する「青少年赤十字海外支援事業」を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

(1) 資金援助協力の状況

カンボジア	救急法普及支援事業	60,000円
	(※日赤第1ブロック全体で)	300,000円を支援)
ミャンマー	救急法普及支援事業	100,000円
	(※日赤第1ブロック全体で)	500,000円を支援)
東ティモール	救急法普及支援事業	300,000円
	(※日赤第1ブロック全体で)	3,200,000円を支援)
ネパール	青少年赤十字海外支援事業	83,000円
	(※日赤第1ブロック全体で)	595,000円を支援)
バヌアツ	青少年赤十字海外支援事業	84,000円
	(※日赤第1ブロック全体で)	598,000円を支援)
	計	627,000円
	(※日赤第1ブロック全体で)	5,193,000円を支援)

(2) ミャンマー赤十字社救急法支援事業への指導員派遣

派遣要員	所 属	派 遣 先	派遣期間	活 動 内 容
大 塚 貴 代	救急法奉仕団	ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン、バゴー	11月25日～ 12月5日	現地指導員研修におけるアドバイザー

2. 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK 秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金活動を呼びかけた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数 32団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）

街頭募金額実績 729,218円

3. 海外救援金の受付状況

名 称	件数（件）	金額（円）
バングラディシュ南部避難民救援金	2	27,205
インドネシアスラウェシ島地震救援金	5	120,875
インドネシアロンボク島地震救援金	3	19,050
NHK海外たすけあいキャンペーン（※）	195	1,453,641
計	205	1,620,771

※郵便振替（本社受付分）は含まず。

6. 災害救護事業等

1. 災害救護活動

- (1) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(平成31年3月31日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市	12		3,060,000
能 代 市	8	5	140,000
横 手 市	9	3	120,000
大 館 市	2	1	40,000
男 鹿 市	3	1	180,000
湯 沢 市	2	3	60,000
鹿 角 市	7	5	120,000
由 利 本 荘 市	1	2	40,000
潟 上 市			540,000
大 仙 市	10	4	80,000
北 秋 田 市	18	7	120,000
仙 北 市	9	6	80,000
に か ほ 市			20,000
小 坂 町			
上 小 阿 仁 村	1	1	20,000
藤 里 町			
三 種 町			40,000
八 峰 町			
五 城 目 町	29	14	220,000
八 郎 潟 町	11	4	80,000
井 川 町			80,000
大 潟 村			
美 郷 町	5	2	40,000
羽 後 町	4	2	40,000
東 成 瀬 村			
計	131	60	5,120,000

(2) 平成30年7月豪雨災害救護活動の実施状況

ア. 災害の概要

- ・発生年月日 平成30年6月28日

西日本から東日本に停滞した前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込だ影響で前線の活動が活発となり、西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的な大雨となった。

- ・被災地…災害救助法適用 11府県

岡山県（14市6町村） 岐阜県（13市6町2村） 広島県（11市4町）

兵庫県（9市6町） 鳥取県（1市9町） 京都府（6市3町）

愛媛県（5市2町） 高知県（4市2町1村） 福岡県（2市）

島根県（1市1町） 山口県（1市）

イ. 被害状況

区 分	人 的 被 害					住 居 被 害					被住家被害	
	死者	行方不明者	負 傷 者			全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷	程度不明							
	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
全国計	237	8	126	339	1	6,767	11,248	4,199	7,173	21,337	159	2,423

ウ. 避難者の状況

- ・最大約4.2万人（全国 7月7日時点）

エ. 秋田県支部の対応

- ・こころのケア班の派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長（看護師長）	菅 原 まゆみ	病院	広島県 呉 市	7月25日～ 8月1日 （8日間）	避難所住民とその支援者に対してこころのケアを実施
看 護 師	稲 岡 一 枝	支部			
看 護 師	小山内 友 美	病院			
理学療法士	坂 本 和 寛				

(3) 北海道胆振東部地震災害救護活動の実施状況

ア. 地震の概要

- ・発生年月日と時刻 平成30年 9 月 6 日 3 時 8 分頃
- ・震央地名 北海道胆振地方中東部（北緯42.7度、東経142.0度）
- ・震源の深さ 37km（暫定値）
- ・規模 マグニチュード6.7（暫定値）
- ・各地の震度
震度 7 厚真町
震度 6 強 安平町、むかわ町
震度 6 弱 千歳町、日高町、平取町

イ. 被害状況

区 分	人 的 被 害			住 居 被 害			被住家 被 害	火災
	死者	負 傷 者		全壊	半壊	一部 破損		
		重傷	輕傷					
	人	人	人	棟	棟	棟		
北海道計	42	31	731	462	1、570	12,600	2,456	2

ウ. 避難者の状況

- ・累計 16,649人 （128市町村 768箇所）

エ. 秋田県支部の対応

- ・DMATチームの派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
医 師	中 畑 潤 一	病院	北海道 札幌市	9 月 6 日～ 9 月10日 (5 日間)	医療機能状況 調査、患者移送
看 護 師	白 鳥 高 広				
看 護 師	五十嵐 優 子				
業務調整員	菊 地 武 則				
業務調整員	竹 澤 雄 基				

・救護班の派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長（医師）	升 田 晃 生	病院	北海道 厚真町、 安平町	9月7日～ 9月12日 （6日間）	避難所の巡回診療を実施
看護師長	岩 下 真 実				
看護師	鈴 木 詔 子				
看護師	稲 垣 紀 子				
主 事	大 山 幸 男				
主 事	佐 藤 昭 憲				
薬 剤 師	工 藤 望				
臨床研修医	今 野 ひかり				
連絡調整員	須 藤 大 稀	支部			

・日赤北海道支部災害対策本部への支援要員派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
災対本部要員	高 橋 真	支部	日赤北海道 支部	9月12日～ 9月17日 （6日間）	災害救護業務の調整

・こころのケア班の派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長（看護師長）	中 川 理 恵	病院	北海道 厚真町、 安平町	9月19日～ 9月24日 （6日間）	避難所住民とその支援者に対してこころのケアを実施
看護師	齋 藤 さおり				
看護師	加賀谷 奈緒子				
主 事	小 沼 祐 一				

2. 訓練・研修会の実施状況

(1) 災害救護訓練等

訓 練 名	期 日	場 所	主 催 者	赤十字関係参加人員	
				人 数	内 訳
「県民防災の日」 訓 練	5月26日	秋 田 市 県庁第2 庁 舎	秋 田 県	3	支部2 防災Vリーダー1
仙北市総合防災 訓 練	8月9日	仙 北 市	仙 北 市 秋田県消防協会 大仙仙北美郷支 部	16	支部1 奉仕団15
秋田県総合防災 訓 練	9月2日	北秋田市	秋 田 県 北 秋 田 市	36	支部4、病院7 防災Vリーダー3 防災V1 奉仕団21
東北ブロック DMAT参集訓練 (病院受入訓練)	10月1日 ～2日	秋田赤十 字 病 院	秋 田 D M A T 秋 田 県	136	病院136
秋田県・羽後町 冬 期 防 災 訓 練	2月17日	羽 後 町	秋田県羽後町	5	病院5

(2) 東北ブロック DMAT 技能維持研修

1回目

期 日 5月12日～13日

会 場 岩手医科大学 矢巾キャンパス

参 加 者 DMAT隊員 3人

2回目

期 日 9月1日～2日

会 場 新潟医療人育成センター

参 加 者 DMAT隊員 2人

3 回目

期 日 1 月12日～13日

会 場 仙台市急患センター

参 加 者 DMAT隊員 3 人

(3) 救護員研修会

期 日 8 月22日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参 加 者 24人

内 容 EMIS 入力訓練

無線通信訓練

基礎行動訓練

被災者支援技術について

(4) 災害派遣医療チーム（DMAT）研修

期 日 8 月27日～30日

会 場 国立病院機構災害医療センター

修了者 病院看護師 2 人

(5) 防災教育業務指導者養成研修会

期 日 10月27日～29日

会 場 日本赤十字社

修了者 防災ボランティアリーダー 2 人

(6) 日赤災害医療コーディネート研修会

期 日 1 月26日～27日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 病院 日赤災害医療コーディネートスタッフ 2 人

(7) こころのケア研修会

期 日 2 月26日

会 場 秋田赤十字病院 多目的ホール

修了者 救護員 26人

3. 臨時救護

各種団体が開催する公的行事に、次のとおり医師・看護師を派遣した。

派遣期日	行事の名称	派遣場所	派遣延べ人数	取扱患者数
7月14日	平成30年度海難救助訓練大会	男鹿市	看護師 1	0
7月28日	平成30年度秋田県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター	秋田市	看護師 1	0
8月8日	第61回東日本医科学生総合体育大会	秋田市	医 師 1	0
9月22日 ～23日	「AKITA防災キャンプフェス」	秋田市	看護師 4	3
9月26日	第31回秋田県高齢者8人制バレーボール 親睦交流大会	秋田市	看護師 1	2
10月15日	平成30年度秋田県社会福祉大会	秋田市	看護師 1	0
10月25日	第56回秋田県老人クラブ大会	秋田市	看護師 1	0
計	7回（延8日）	医師 1 人、看護師 9 人		5

4. 「赤十字防災セミナー」の実施状況

災害に対する意識や発生時に対する対処方法・応急手当についての知識や技術を習得していただくことを目的に、次のとおり実施した。平成30年度より「赤十字みんなの防災講座」から名称を改訂した。

内容

- ①赤十字と災害救護について
- ②災害時のマメ知識
- ③非常炊き出し実習
- ④救急法等
- ⑤避難所で役立つ知識と技術
- ⑥災害エスノグラフィ
- ⑦DIG（災害図上訓練）

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
秋 田 市	4月1日	秋田市手形東町第二町内会	一 般	17	1	(※)竹内
	5月12日	秋田市ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	41	2.5	(※)竹内
	5月18日	(株)中山組	一 般	21	2	(支)須藤(※)竹内
	6月2日	秋田市東小沼町内会	一 般	50	2	(支)鎌田(※)竹内
	6月10日	秋田市西吉学寺町内会	一 般	30	1.5	(支)碓谷・須藤

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
秋 田 市	6 月15日	秋田市新屋下表町 シニア レディースクラブ	一 般	13	2	(支)稲岡(※)武田
	6 月24日	秋田市黒沼協和会	一 般	31	2	(支)碓谷
	6 月25日	秋田市太平地区保険推進委員会	一 般	31	2	(病)鎌田佐(※)竹内
	7 月 8 日	秋田市飯島地区社会福祉協議会	一 般	71	2	(支)碓谷 (※)竹内・岡部
	9 月13日	秋田地方気象台	一 般	19	1	(支)碓谷
	9 月22日	AKITA 防災キャンプフェス 実行委員会	一 般	35	7	(支)碓谷(有)新沼 (※)八代
	9 月23日	AKITA 防災キャンプフェス 実行委員会	一 般	150	5	(支)碓谷(※)渡辺
	10月13日	秋田市泉学区町内会連合会	一 般	110	1.5	(支)碓谷・鎌田
	10月15日	秋田県立西高等学校	生 徒 一 般	10	1	(支)碓谷 (※)鎌田・齊藤
	10月16日	あきた中央保育園	園 児 ・ 保 護 者 ・ 職 員	61	2.5	(支)佐々木(※)伊藤
	10月20日	秋田市旭北地区社会福祉協議会	一 般	61	2.5	(支)碓谷 (※)八代・渡辺
	10月28日	秋田市赤十字奉仕団	奉仕団員 一 般	254	2	(支)碓谷・須藤 (※)藤田
	10月28日	秋田市新屋南団地町内会	一 般	23	2	(※)田口・渡辺
	11月 3 日	秋田市下飯島町内会	一 般	21	1.5	(※)藤田・竹内
	11月 7 日	秋田和洋女子高等学校	高 校 生	147	4.5	(※)竹内
	11月10日	秋田市飯島街道町内会	一 般	16	2	(支)碓谷
	11月14日	秋田市将軍野婦人学級	一 般	33	2	(支)碓谷
	11月15日	秋田地方検察庁	一 般	20	1.5	(※)竹内・松渕
	11月19日	手話サークルたんぽぽ	一 般	13	2	(支)碓谷
	12月 2 日	秋田市上飯島町内会	一 般	18	3	(支)稲岡
	12月12日	秋田市追分学校通り町内会	一 般	16	1.5	(支)稲岡・須藤
	12月14日	更生保護法人 秋田至仁会	一 般	15	2	(支)碓谷・須藤
	2 月 7 日	秋田県林業コンサルタント	一 般	17	2.5	(支)碓谷・須藤
能 代 市	8 月25日	能代市社会福祉協議会 二ツ井総合福祉センター	奉仕団員 一 般	24	2	(支)稲岡
	10月23日	能代市立淳城南小学校	児 童 職 員 等	80	2	(※)佐藤勇・大塚・ 秋山
	11月18日	能代市向能代自治連合協議会	一 般	45	2	(※)佐藤勇・竹内・ 秋山

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 者
能 代 市	3 月23日	能代市市民活動支援センター	一 般	14	2	(支)碓谷 (※)大塚・佐藤勇
横 手 市	7 月11日	横手市赤十字奉仕団横手分団 旭班	奉仕団員	28	3	(支)碓谷
	7 月20日	横手市増田町醍醐婦人会	一 般	28	2	(※)佐藤美
	7 月23日	横手市立十文字第一小学校	小 学 生	68	6	※別記 1
	9 月 4 日	日赤横手市地区大雄分区	奉仕団員	62	3	(支)稲岡(※)武田
	11月 5 日	横手市十文字婦人会	奉仕団員	30	4	(※)阿部
	11月25日	横手市赤十字奉仕団大森分団 大森火災予防婦人会	奉仕団員 一 般	23	2.5	(支)稲岡(※)武田
	12月 4 日	横手市赤十字奉仕団	奉仕団員	20	0.5	(支)碓谷
大 館 市	6 月21日	大館市立釈迦内小学校	小 学 生 教 職 員	50	2	(※)糸谷幸
	2 月22日	大館扇田まちづくり協議会 大館市立比内公民館扇田分団	一 般	15	2	(支)須藤(※)梅田
男 鹿 市	6 月24日	男鹿市打ヶ崎町内会	一 般	63	2	(支)稲岡 (※)菅原・武田
	10月 2 日	日赤男鹿市地区	一 般	23	2	(支)碓谷・須藤
湯 沢 市	9 月29日	日赤秋田県支部	児 そ の 童 他	30	5.5	(支)碓谷
由利本荘市	7 月13日	JA 秋田しんせい高齢者助けあい グループ連絡協議会	一 般	52	1.5	(支)鎌田(※)三浦則 (※)佐藤美
	9 月30日	由利本荘市東御門町町内会	一 般	95	2	(支)須藤
	10月17日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉仕団員 一 般	75	3	(支)稲岡(※)荘司
	10月20日	日赤由利本荘市地区西目分区	奉仕団員 一 般	60	3	(支)須藤 (※)岡部・佐藤美
潟 上 市	6 月10日	潟上市追分西町内会	一 般	19	2	(※)高橋邦・竹内・ 渡辺
	6 月12日	潟上市赤十字奉仕団天王分団	奉仕団員 一 般	58	2	(支)稲岡(※)武田
	8 月 5 日	潟上市赤十字奉仕団飯田川分団	奉仕団員 一 般	35	1	(支)稲岡
	9 月14日	秋田県立支援学校天王みどり学 園	児 生 童 徒	200	2	(支)碓谷・稲岡・佐々木
大 仙 市	7 月 6 日	日赤大仙市地区長	奉仕団員	86	3.5	(支)稲岡(※)武田
	11月12日	日赤大仙市地区中仙分区	小 学 生	83	2.5	(支)碓谷・須藤 (※)竹内
仙 北 市	8 月 9 日	仙北市	奉仕団員	20	4	(支)碓谷
三 種 町	8 月30日	三種町八竜赤十字奉仕団	奉仕団員	15	2	(支)佐々木・鎌田

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
三 種 町	9 月 7 日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉仕団員	53	3	(支)稲岡(※)菅原
	9 月 7 日	森岳保育園	園 児 父 兄	162	1	(支)佐々木(※)梅田
八 峰 町	1 月10日	八峰町峰浜赤十字奉仕団	奉仕団員	19	1.5	(支)碓谷・須藤
	3 月15日	八峰町社会福祉協議会	一 般	48	2	(支)碓谷 (※)大塚・佐藤勇
五 城 目 町	9 月12日	五城目町	一 般	30	1	(支)佐々木
八 郎 潟 町	9 月13日	八郎潟町社会福祉協議会 八郎潟町ボランティア協議会	一 般	120	3	(支)稲岡・佐々木
東 成 瀬 村	1 月15日	東成瀬村赤十字奉仕団	奉仕団員 一 般	29	29	(支)碓谷
計		63回		3,206	175.5	

※指導者欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(※)はボランティアを表す。

5. 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

寄 贈 台 数	6 台
車 種	デイズ（軽四輪自動車）
寄 贈 市 町	湯沢市・仙北市・にかほ市・八峰町・五城目町・羽後町
累 計	88台（平成15年度～）

6. 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) 移動炊飯器

配置台数	7 台
配置地区・分区	大館市・男鹿市・鹿角市・大仙市（2 台）・仙北市・井川町
累 計	80台（平成20年度～）

(2) A E D（自動体外式除細動器）

配置台数	5 台
配置地区・分区	能代市（3 台）・横手市・鹿角市
累 計	119 台（平成20年度～）

(3) 発電機

配置台数	10 台
配置地区・分区	能代市・横手市・潟上市（2 台）・大仙市（2 台） 北秋田市（2 台）・三種町・東成瀬村
累 計	41 台（平成26年度～）

(4) ワンタッチテント

配置台数	13 張
配置地区・分区	横手市（2 張）・大館市・男鹿市・由利本荘市（3 張） 北秋田市・藤里町・三種町・井川町・大潟村・美郷町
累 計	39 張（平成28年度～）

7. 救護資器材の整備

- ・救護班装備（肘当て・膝当て・手袋・モバイルプリンター）

8. 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（平成31年 3 月31日現在）

施 設 別	人 数 （人）		
	災害対策本部要員	救護班要員	血液供給要員
支 部	5	—	—
病 院	4	66	—
血液センター	2	—	3
計	11	66	3

(2) 救護班の編成状況

(平成31年 3 月31日現在)

常 置 施 設	救護班数 (班)	救護班要員数 (人)	職種別要員数 (人)
病 院	9	66	医 師 9 看護師長 9 看護 師 18 主 事 18 薬 剤 師 9 助 産 師 3

9. 防災ボランティア登録状況

(平成30年 3 月31日現在)

区 分	登録団体数	男女別数 (人)		計 (人)
(1) 団体	1	男	82	86
		女	4	
(2) 個人	—	男	20	31
		女	11	
(3) 防災ボランティア・リーダー	—	男	5	6
		女	1	
計	1	男	109	123
		女	16	

10. 救護資器材の主な装備状況

資 器 材 名	数 量	備 考
150MHZ 帯業務用無線機	33	基地局 1、移動局23、携帯用 9（血液センターを含む）
400MHZ 帯業務用無線機	24	基地局 1、移動局 9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用（内、携帯用 2）
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	5	
投光器	2	
担架	15	
スクープストレッチャー	1	救急用担架
折りたたみ寝台	39	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	3	病院
災害救援車	6	支部
エアーテント	2	患者収容用 1、診察用 1
組立てトイレ	47	
浄水機	1	
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
パーソナルコンピューター	2	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4 色（黒・赤・黄・青）× 2 組

資 器 材 名	数 量	備 考
パルスオキシメーター	1	
AED	1	
フレームテント	2	
ポータブルテレビ	1	
モバイルプリンター	1	

11. 救援物資の備蓄状況

品 名	数 量
毛 布	2,640枚
緊 急 セ ッ ト	1,626個
安 眠 セ ッ ト	569個

12. 救護看護師の養成等

- (1) 「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された３年目の看護師を対象に５日間の研修を実施した。（修了者20人）
- (2) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学在校生194人（看護学科174人、介護福祉学科20人）に対し、救急法等講習教材(救急法等講習教本、教材セット)を贈呈した。

13. 義援金（救援金）の受付状況

（平成31年３月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	49	2,079,305
平成28年熊本地震災害義援金	8	165,919
平成29年７月５日からの大雨災害義援金	13	106,536
７月豪雨災害義援金	599	23,986,914
大阪府北部地震災害義援金	26	342,190
米原市竜巻災害義援金	7	239,230
北海道胆振東部地震災害義援金	248	6,318,278
平成29年秋田県大雨災害義援金	4	38,505
平成29年台風18号災害義援金	1	2,429
計	955	33,279,306

7. 救急法・健康生活支援講習等の普及

1. 総 括 表

	講 習 名 称	回 数 (回)	受講者数 (人)	資格修得者数 (人)
救 急 法	基礎講習	23	626	626
	救急員養成講習	18	531	519
	短期講習	166	6,830	
	計	207	7,987	1,145
健康 生活 支援 講習	支援員養成講習	4	128	128
	災害時高齢者生活支援講習	34	2,224	
	短期講習	66	3,249	
	計	104	5,601	128
水 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	1	10	8
	短期講習	20	921	
	計	21	931	8
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	4	155	153
	短期講習	68	1,228	
	計	72	1,383	153
雪 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	1	24	24
	短期講習	0	0	
	計	1	24	24
総 計		405	15,926	1,458

2. 救 急 法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取 得者数
秋 田 市	4月1日	手形東町第二町内会	一 般	17	1	(※)竹内	
	4月26日	(株)ユアテック秋田支社	従 業 員	13	4	(※)碓谷・須藤(※)竹内	
	5月12日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	41	1	(※)竹内	
	5月12日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	41	0.5	(※)竹内	
	5月12日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	41	0.5	(※)竹内	
	5月15日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	26	4	(※)碓谷(※)梅田	
	5月16日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	19	1	(※)須藤	
	5月17日	(株)きららホールディングス	従 業 員	15	2.5	(※)渡辺	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	5月17日	(株)きららホールディングス	従 業 員	15	1	(※)渡辺	
	5月19日	日本防災士会秋田県支部	防 災 士	35	1	(※)田口・竹内・渡辺	
	5月22日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	26	2	(※)須藤(※)竹内	
	5月22日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	25	2	(※)須藤(※)竹内	
	5月22日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	25	2	(※)須藤(※)竹内	
	5月22日	日赤秋田県支部 秋田県青少年赤十字指導者協議会	JRC 指 導 者	10	1	(※)淀谷	
	5月23日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	20	1	(※)須藤	
	5月24日	秋田県赤十字血液センター	中 学 生	2	1	(※)若林	
	5月27日	日赤秋田県支部	一 般	72	4.5	(※)柴田・畠山・岡部	
	6月6日	特別養護老人ホーム太平荘	施 設 職 員	27	1.5	(※)須藤(※)若林(※)竹内	
	6月10日	西吉学寺町内会	一 般	30	1	(※)淀谷・須藤	
	6月12日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	12	1.5	(※)松淵・竹内・渡辺	
	6月13日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	10	1.5	(※)淀谷・須藤	
	6月15日	秋田県労働基準協会	一 般	99	2.5	※別記1のとおり	
	6月16日	日赤秋田県支部	一 般	22	4	(※)淀谷(※)竹内・岡部	
	6月17日	東通町内会	一 般	20	2	(※)須藤	
	6月17日	秋田県高等学校青少年赤十字協議会	高 校 生	35	1	(※)須藤	
	6月19日	秋田県社会福祉協議会	一 般	30	1.5	(※)鎌田・須藤	
	6月19日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	20	1	(※)須藤	
	6月20日	つくしんぼ学童保育クラブ	小 学 生	57	1	(※)須藤	
	6月22日	社会福祉法人いずみ会	介 護 職 員	21	2	(※)須藤(※)竹内・渡辺	
	6月23日	赤十字防災教育委員会	大 学 生	80	1.5	(※)松淵	
	6月23日 ～24日	日赤秋田県支部	一 般	19	12	(※)須藤(※)竹内・梅田・渡辺・岡部	18
	6月24日	黒沼協和会	一 般	31	0.5	(※)淀谷	
	6月24日	黒沼協和会	一 般	31	1	(※)淀谷	
	6月25日	太平地区保健推進委員会	一 般	31	1	(※)鎌田(※)竹内	
	6月27日 ～29日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	32	4	(※)田口・小西・中川	
	6月29日	秋田大学教育文化学部附属小学校 PTA	小 学 生	190	1	(※)伊藤三・渡辺	
	7月4日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	29	4	※別記2のとおり	
	7月5日	秋田北高等学校	高 校 生	145	1	(※)淀谷・須藤(※)松淵・竹内	
	7月5日	秋田北高等学校	高 校 生	171	1	(※)淀谷・須藤(※)松淵・竹内	
	7月5日	秋田北高等学校	高 校 生	161	1	(※)淀谷・須藤(※)松淵・竹内	
	7月5日 ～6日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	29	12	※別記3のとおり	29
	7月6日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	20	1	(※)須藤	

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	7 月 7 日	御所野小学校 PTA	保 護 者	31	2	(※)藤田理・竹内・長谷川	
	7 月 8 日	飯島地区社会福祉協議会	一 般	71	1.5	(※)碓谷(※)竹内・岡部	
	7 月 9 日 ～13日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	32	12	(※)田口・小西・中川	32
	7 月18日	明德小学校	保 護 者	20	2	(※)須藤	
	7 月21日	日赤秋田県支部 秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	10	4	※別記4のとおり	
	7 月21日	旭南地区自主防災組合連 合会	一 般	83	1	(※)碓谷(※)田口・八代	
	7 月24日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	56	4	(※)須藤(※)竹内・渡辺	
	7 月26日 7 月30日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	56	12	※別記5のとおり	49
	7 月29日	秋田県防災士会	防 災 士	15	1.5	(※)田口・竹内・渡辺	
	7 月31日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	56	4	(※)碓谷・須藤(※)新沼	
	8 月 2 日 ～3 日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	56	12	※別記6のとおり	53
	8 月 3 日	日赤秋田県支部	地 区 分 区 員 担 当 職	16	1	(※)碓谷・松橋	
	8 月10日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	15	2	(※)碓谷・須藤(※)竹内	
	8 月20日	聖霊女子短期大学附属高 等学校	教 職 員	44	1.5	(※)竹内・松淵・長谷川	
	8 月24日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	21	1	(※)碓谷・須藤	
	8 月26日	秋田県ママさんバレーボ ール連盟	一 般	53	2	(※)竹内・佐々木靖・岡部	
	8 月31日	秋田赤十字病院 秋田県教育庁	教 員	8	1.5	(※)竹澤・清水	
	9 月 1 日	日赤秋田県支部	一 般	27	4	(※)須藤(※)竹内	
	9 月 2 日 9 月 8 日	日赤秋田県支部	一 般	21	12	※別記7のとおり	21
	9 月 4 日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	19	4	(※)須藤(※)竹内・松淵	
	9 月 5 日 ～6 日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	19	12	(※)佐々木・碓谷(※)松淵・梅田	19
	9 月12日	介護老人福祉施設南寿園	介 護 職 員	20	1	(※)竹内・長谷川	
	9 月20日	日赤秋田看護大学・短期 大学	大学生・短大生	223	1	(※)碓谷・須藤(※)竹内・松淵・ 梅田	
	9 月20日	日赤秋田看護大学・短期 大学	大学生・短大生	223	0.5	(※)碓谷・須藤(※)竹内・松淵・ 梅田	
	9 月20日	日赤秋田看護大学・短期 大学	大学生・短大生	223	0.5	(※)碓谷・須藤(※)竹内・松淵・ 梅田	
	9 月22日	AKITA 防災キャンプフェ ス実行委員会	一 般	35	4	(※)稲岡(※)新沼(※)八代	
	9 月23日	AKITA 防災キャンプフェ ス実行委員会	一 般	150	4	(※)碓谷(※)渡辺	
	9 月27日	社会福祉法人横手福寿会	介 護 職 員	19	1	(※)碓谷(※)竹内	
	9 月27日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	4	4	(※)碓谷	
	9 月28日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	18	1	(※)碓谷・須藤	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	9 月 30 日	築地中町町内会	一 般	20	1.5	(※)竹内・中山	
	10 月 2 日	特別養護老人ホーム太平荘	介 護 職 員	28	1.5	(※)竹内・若林	
	10 月 11 日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	16	2	(※)碓谷・須藤(※)竹内	
	10 月 11 日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	16	2	(※)碓谷・須藤(※)竹内	
	10 月 11 日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	16	2	(※)碓谷・須藤(※)竹内	
	10 月 12 日	秋田県労働基準協会	一 般	99	3	※別記 8 のとおり	
	10 月 13 日	泉学区町内会連合会	一 般	51	1.5	(※)碓谷・鎌田	
	10 月 17 日	秋田リハビリテーション学院	大 学 生	38	4	(※)碓谷・須藤(※)竹内	
	10 月 18 日 ～19 日	秋田リハビリテーション学院	大 学 生	38	12	※別記 9 のとおり	38
	10 月 20 日	旭北地区社会福祉協議会	一 般	61	1.5	(※)碓谷(※)八代・渡辺	
	10 月 20 日	旭北地区社会福祉協議会	一 般	61	1	(※)碓谷(※)八代・渡辺	
	10 月 28 日	新屋南団地町内会	一 般	23	1	(※)田口・渡辺	
	10 月 29 日	たんぼぼ学童保育クラブ	小 学 生	52	1	(※)碓谷	
	11 月 3 日	秋田市下飯島町内会	一 般	21	1.5	(※)竹内・藤田	
	11 月 4 日	秋田市横森4丁目町内会	一 般	28	2	(※)竹内・岡部	
	11 月 6 日 ～8 日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	42	4	(※)小西・中川・板倉	
	11 月 10 日	飯島街道町内会	一 般	16	1	(※)碓谷	
	11 月 10 日	飯島街道町内会	一 般	16	2	(※)碓谷	
	11 月 11 日	秋田県青年赤十字奉仕団 連絡協議会	奉 仕 団 員	44	1	(※)松橋・須藤	
	11 月 13 日 ～21 日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	42	12	(※)小西・中川・板倉	42
	11 月 15 日	秋田地方検察庁	職 員	20	1.5	(※)竹内・松測	
	11 月 15 日	秋田地方検察庁	職 員	20	1	(※)竹内・松測	
	11 月 20 日	秋田県労働基準協会	一 般	13	3	(※)碓谷	
	12 月 3 日	秋田県立南高校・中等部	教 職 員	20	1.5	(※)竹内・長谷川	
	12 月 6 日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	13	1	(※)碓谷	
	12 月 8 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	23	4	※別記10のとおり	
	12 月 9 日 12 月 15 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	16	12	※別記11のとおり	16
	12 月 12 日	秋田市追分学校通り町内会	一 般	16	1.5	(※)稲岡・須藤	
	12 月 18 日	社会福祉法人 北杜	施 設 職 員	48	1	(※)碓谷	
	12 月 23 日	秋田県水泳連盟	ス ポ ーツ 指 導 員	35	2	(※)竹内・渡辺	
	1 月 6 日	秋田県赤十字血液センター	一 般	58	6	(※)碓谷(※)若林	
	1 月 15 日	秋田県立歯科医療専門学校	専 門 学 生	36	4	(※)須藤(※)佐々木靖	
	1 月 16 日 ～17 日	秋田県立歯科医療専門学校	専 門 学 生	36	12	(※)碓谷・須藤(※)竹内・梅田	36

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	1月21日	日本赤十字秋田看護大学	大学生・短大生	54	4	(※)須藤(※)佐々木靖・松淵	
	1月22日 ～23日	日本赤十字秋田看護大学	大学生・短大生	51	12	※別記12のとおり	50
	1月28日	日本赤十字秋田看護大学	大学生・短大生	64	4	(※)須藤(※)新沼・荻原・竹内	
	1月29日 ～30日	日本赤十字秋田看護大学	大学生・短大生	66	12	※別記13のとおり	66
	1月31日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	9	1	(※)須藤	
	2月7日	秋田県林業コンサルタント	従 業 員	17	1.5	(※)碓谷・須藤	
	2月7日	秋田県林業コンサルタント	従 業 員	17	1	(※)碓谷・須藤	
	2月8日	秋田県労働基準協会	一 般	98	2.5	※別記14のとおり	
	2月21日	秋田県地質調査業協会	協 会 会 員	40	2.5	(※)碓谷(※)竹内	
	2月27日	(株)NTT 東日本サービス	従 業 員	4	1	(※)碓谷	
	3月7日	稲庭クリニック	医 療 従 事 者	10	1	(※)須藤	
	3月9日	日赤秋田県支部	一 般	18	4	(※)長内・竹内・岡部・渡辺	
	3月10日 3月16日	日赤秋田県支部	一 般	17	12	※別記15のとおり	17
	3月15日	聖霊女子短期大学付属高等学校	高 校 生	76	1	(※)須藤(※)松淵・竹内	
	3月15日	聖霊女子短期大学付属高等学校	高 校 生	73	1	(※)須藤(※)松淵・竹内	
	3月15日	聖霊女子短期大学付属高等学校	高 校 生	74	1	(※)須藤(※)松淵・竹内	
能 代 市	7月9日	第四小学校	小 学 生	100	1	(※)鎌田(※)佐藤勇・梅田・秋山里	
	9月22日	能代市南地域センター	小 学 生 員 奉 仕 団 員	30	1	(※)佐藤勇	
	10月23日	能代市立湊城南小学校	小 学 生	80	1.5	(※)佐藤勇・大塚・秋山里	
	11月5日	能代市常盤地域センター	奉 仕 団 員	30	1	(※)佐藤勇	
	11月18日	能代市向能代地域センター	一 般	45	1	(※)佐藤勇・大塚・秋山	
	11月18日	能代市向能代地域センター	一 般	45	1	(※)佐藤勇・大塚・秋山	
	11月23日	能代ふれあいプラザ サンピノ	一 般	10	4	(※)佐藤勇・今井	
	11月24日 ～25日	能代ふれあいプラザ サンピノ	一 般	7	12	(※)佐藤勇・今井(※)長内・柴田	7
	11月29日	秋田県立能代支援学校	児 童 ・ 生 徒	41	0.5	(※)碓谷・須藤(※)秋山	
	11月29日	秋田県立能代支援学校	児 童 ・ 生 徒	46	0.5	(※)碓谷・須藤(※)秋山	
	11月29日	秋田県立能代支援学校	児 童 ・ 生 徒	20	0.5	(※)碓谷・須藤(※)秋山	
	11月29日	秋田県立能代支援学校	児 童 ・ 生 徒	25	0.5	(※)碓谷・須藤(※)秋山	
	1月21日	能代警察署	警 察 官	26	1.5	(※)佐藤勇・大塚・秋山	
	3月23日	能代市勤労青少年ホーム	一 般	14	1	(※)碓谷(※)佐藤勇・大塚	
横 手 市	5月18日	横手城南高等学校	教 職 員	17	1.5	(※)碓谷	
	7月23日	十文字第一小学校	小 学 生	68	1	※別記16のとおり	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
横 手 市	10月11日	秋田県立横手城南高校	教 職 員	11	1	(※)錠谷(※)佐々木靖	
	10月15日	秋田県雄物川高校	教 職 員	12	1.5	(※)須藤(※)佐々木靖	
大 館 市	6月21日	釈迦内小学校	小 学 生	50	1	(※)糸屋幸	
由利本荘市	5月30日	介護労働安定センター	介 護 職 員	25	1	(※)須藤	
	7月12日	ゆり支援学校	教 職 員	45	1	(※)須藤(※)佐々木弘	
	7月25日	鳥海小学校	教 職 員	22	1	(※)須藤(※)佐々木弘	
	10月20日	日赤由利本荘市地区西目分区	奉 仕 団 員	60	1	(※)須藤(※)岡部・佐藤美	
	11月1日	介護老人保健施設 あまさぎ園	介 護 職 員	13	1	(※)須藤	
	11月1日	介護老人保健施設 あまさぎ園	介 護 職 員	13	1	(※)須藤	
男 鹿 市	5月30日	払戸小学校	小 学 生	105	1	(※)錠谷(※)佐々木靖・中山	
	6月24日	打ヶ崎町内会	一 般	63	1.5	(※)稲岡(※)菅原ト・武田	
	10月2日	日赤男鹿市地区	一 般	23	1.5	(※)錠谷・須藤	
	10月2日	日赤男鹿市地区	一 般	23	1	(※)錠谷・須藤	
	2月20日	男鹿市立脇本第一小学校	保護者・教職員	55	2	(※)錠谷(※)秋山里	
湯 沢 市	7月4日	三関小学校	小 学 生	50	4	(※)錠谷(※)佐々木靖	
	9月29日	日赤秋田県支部	小 学 生	30	12	(※)錠谷	
	10月22日	日赤湯沢市地区 湯沢市地区体育協会	一 般	25	0.5	(※)須藤(※)阿部里	
	12月3日	湯沢市教育委員会	スキーパトロール	22	0.5	(※)阿部	
	12月3日	湯沢市教育委員会	スキーパトロール	22	0.5	(※)阿部	
	2月6日	湯沢市立山田小学校	教 職 員	10	1.5	(※)須藤	
	2月18日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 学 生	11	1.5	(※)錠谷・須藤(※)阿部・高橋文	
	2月19日 ～20日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 学 生	11	1.5	(※)錠谷・須藤(※)阿部・高橋文	11
	3月9日	古館町町内会	一 般	15	1	(※)錠谷	
	3月9日	古館町町内会	一 般	15	1.5	(※)錠谷	
	3月9日	古館町町内会	一 般	15	3	(※)錠谷	
大 仙 市	5月15日	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	理学療法士等	24	1	(※)長谷川	
	7月2日	協和小学校	教 職 員	20	1	(※)藤井	
	9月9日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	8	1	(※)竹内・岡部	
	9月15日 ～16日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	4	1	※別記17のとおり	4
	10月14日	秋田県高体連登山専門部	高 校 生	60	1	(※)梅田	
	10月14日	秋田県高体連登山専門部	高 校 生	60	4	(※)梅田	
	11月12日	日赤大仙市中仙分区	小 学 生	83	12	(※)錠谷・須藤(※)竹内	
	3月8日	太田地域自主防災組織連絡協議会 日赤大仙市地区太田分区	一 般	17	1	(※)錠谷	
鹿 角 市	11月20日	鹿角市立花輪北小学校	小 学 生	80	1	(※)梅田・佐々木靖	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
鹿 角 市	12月18日	県立比内支援学校 かづの校	高 校 生	34	1.5	(※)須藤	
北秋田市	7 月 8 日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ール 監視員	23	4	(※)須藤・長内・成田	
潟 上 市	9 月14日	県立支援学校天王みどり学園	生 徒	15	1	(※)佐々木・碓谷・稲岡	
にかほ市	6 月18日	仁賀保高等学校	高 校 生	100	0.5	(※)荘司・佐々木弘・長谷川・梅田	
	6 月18日	仁賀保高等学校	高 校 生	100	0.5	(※)荘司・佐々木弘・長谷川・梅田	
	7 月 5 日	にかほ市教育委員会	プ ール 監視員	10	1	(※)佐々木(※)大塚	
仙 北 市	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	15	1	(※)土井智・土井雅	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	15	1	(※)土井智・土井雅	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	15	1	(※)土井智・土井雅	
	12月23日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	15	1	(※)土井智・土井雅	
小 坂 町	8 月 1 日	小坂小学校・小坂中学校	教 職 員	21	1	(※)須藤(※)根本	
	8 月 1 日	小坂小学校・小坂中学校	教 職 員	21	1	(※)須藤(※)根本	
藤 里 町	11月30日	白神フォレストガイズ	一 般	11	4	(※)竹内・梅田	
	12月1日 ～2日	白神フォレストガイズ	一 般	11	12	(※)碓谷・須藤(※)竹内・梅田	11
三 種 町	8 月30日	三種町八竜赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	15	1	(※)佐々木・鎌田	
	9 月 7 日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	54	1	(※)稲岡(※)菅原ト	
	10月21日	三種町山本赤十字奉仕団	一 般	153	1	(※)竹内・中山	
八 峰 町	3 月15日	八峰町社会福祉協議会	一 般	48	1	(※)碓谷(※)佐藤勇・大塚	
	3 月15日	八峰町社会福祉協議会	一 般	48	1	(※)碓谷(※)佐藤勇・大塚	
大 潟 村	6 月11日	日赤大潟村分区	監 視 員	15	1	(※)大塚・秋山里	
	2 月28日	日赤大潟村分区	奉 仕 団 員	20	2	(※)須藤(※)大塚	
美 郷 町	10月10日	美郷町赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	25	1	(※)松測・佐藤美	
	10月10日	美郷町赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	25	1	(※)松測・佐藤美	
羽 後 町	6 月18日	水沢のつどい	一 般	13	1	(※)阿部	
	6 月18日	水沢のつどい	一 般	13	1	(※)阿部	
	7 月 4 日	西馬音内小学校 PTA	保 護 者	60	0.5	(※)須藤(※)阿部	
	7 月 4 日	西馬音内小学校 PTA	保 護 者	60	0.5	(※)須藤(※)阿部	
	7 月 9 日	ノルディックウォーキング さくらの会	一 般	13	1.5	(※)阿部	
岩 手 県 北 上 市	5 月19日	東北スノーボード協会	インストラクター	9	1.5	(※)佐々木靖	
	5 月19日	東北スノーボード協会	インストラクター	9	0.5	(※)佐々木靖	
	5 月19日	東北スノーボード協会	インストラクター	9	1	(※)佐々木靖	
	5 月19日	東北スノーボード協会	インストラクター	9	0.5	(※)佐々木靖	
	7 月21日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	0.5	(※)佐々木靖	
	7 月21日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	1	(※)佐々木靖	
	7 月21日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	1	(※)佐々木靖	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
岩手県 北上市	7月21日	東北スノーボード協会	協 会 会 員	17	1	(※)佐々木靖	
計		207回		7,987	523.5		519

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救急員養成講習(12時間)を修了し、検定の結果「救急員」に合格した者の数を表す。

※別記1 (支) 碓谷・須藤(病) 竹澤・鎌田・堀江・津谷(ボ) 荘司・竹内・梅田・渡辺

※別記2 (病) 三浦則・齋藤・清水・堀江・菊地・竹澤

※別記3 (病) 堀江・中川・津谷・清水・大原・石井・鎌田・岩下・畠山・齋藤・安田・藤原・竹澤

※別記4 (支) 須藤(病) 竹澤・伊藤衣(ボ) 畠山邦・佐藤勇・三森・銭谷・糸屋幸・今井・大塚・荒木・秋山克・藤田ま

※別記5 (支) 佐々木・碓谷・須藤(看) 新沼(ボ) 松渕

※別記6 (支) 佐々木・須藤(看) 荻原・新沼(ボ) 竹内・松渕

※別記7 (支) 佐々木・碓谷・須藤(ボ) 菅原ト・竹内・渡辺

※別記8 (支) 碓谷・須藤(病) 藤原・鈴木・今野・大原(ボ) 荘司・竹内・梅田・松渕

※別記9 (ボ) 松渕・藤田・竹内・梅田・長谷川

※別記10 (ボ) 田口・八代・竹内・岡部・渡辺

※別記11 (ボ) 田口・八代・竹内・岡部・渡辺・高橋邦・荘司・八代

※別記12 (支) 須藤(ボ) 佐々木靖・松渕・新沼・梅田

※別記13 (支) 須藤(ボ) 竹内・松渕・新沼・梅田・荻原

※別記14 (支) 佐々木・碓谷・鎌田・須藤(病) 竹澤・船木政・清水・三浦洋(ボ) 荘司・竹内

※別記15 (支) 碓谷・須藤(ボ) 竹内・松渕・梅田・渡辺

※別記16 (病) 竹澤雄基(ボ) 畠山邦・銭谷・阿部・糸屋幸・土井智・佐野・高橋文・大塚・藤井・藤田ま・土井雅

※別記17 (ボ) 高橋邦・高橋文・高橋佳・佐野・岡部・竹内

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 4月21日

会 場 秋田県社会福祉会館 2階展示ホール

参加者数 77人

研修内容

- ・講習普及方針について
- ・講話「救急現場で見た市民による心肺蘇生と AED の実際

～日本赤十字社と消防による普及啓発大作戦～

講師 秋田市消防本部 清野洋一氏

- ・一次救命処置実技確認

3. 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4月13日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	4月22日	秋田県赤十字芸能奉仕団	一 般	330	0.5	(注)稲岡	
	5月11日	秋田赤十字病院看護部	一 般	26	2	(注)遠藤・黒井・三浦耐	
	5月17日	秋田県教育協会	一 般	13	1	(注)菅原	
	5月17日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	5月18日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	5月24日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	5月31日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	6月1日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	1	(注)稲岡	
	6月7日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	6月15日	青少年赤十字賛助奉仕団	専 門 学 生	14	1	(注)菅原	
	6月21日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡(注)出雲	
	6月22日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡(注)柴田	
	6月24日	秋田市河辺黒沼協和会	一 般	31	1	(注)旋谷	
	6月28日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡(注)鈴木	
	6月29日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	3	(注)稲岡	
	7月7日	秋田市新屋地区社会福祉協議会	一 般	55	1	(注)稲岡	
	7月19日	秋田市保健所	一 般	53	1.5	(注)稲岡	
	8月9日	秋田市中央市民サービスセンター	一 般	16	1	(注)稲岡	
	8月22日	日赤秋田県支部	一 般	24	0.5	(注)稲岡	
	8月28日 8月29日	秋田赤十字短期大学	短 大 生	13	12	(注)稲岡(注)黒井・齋藤(注)佐藤	13
	9月21日	秋田県立秋田明徳館高等学校	高 校 生	17	2	(注)牧野	
	10月9日	社会福祉法人 秋田中央福祉会 ショートステイあきた中央	一 般	20	1	(注)菅原	
	10月16日	秋田市ふれあいサロン 「はつらつ」	一 般	21	1	(注)稲岡	
	10月20日 10月21日	日赤秋田県支部	一 般	6	12	(注)稲岡(注)鎌田・鳴海・船木(注)菅原	6
	11月7日	日赤秋田県支部	奉 仕 団 員	107	0.5	(注)稲岡	
	11月16日	秋田市西部市民サービスセンター	奉 仕 団 員	31	1.5	(注)稲岡	
	11月30日	秋田県社会福祉協議会	一 般	42	1.5	(注)稲岡	
	12月15日	秋田市新屋老人クラブ 「いきいき会」	一 般	13	2	(注)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋田市	12月21日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	54	1.5	(※)稲岡	
	1月17日 1月18日	秋田赤十字看護大学	大 学 生	49	12	(※)稲岡(内)佐藤 (※)小松か・三浦耐	49
	2月4日	日赤秋田県支部	職 員	6	0.5	(※)稲岡	
	2月5日 2月6日	秋田赤十字看護大学	大 学 生	60	12	(※)稲岡(※)佐藤(※)一関・小松恵	60
	2月8日	秋田市南部市民サービスセンター	一 般	18	1.5	(※)菅原	
	2月18日	秋田市長	一 般	46	1.5	(※)菅原	
	2月21日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	31	3	(※)稲岡	
	2月21日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	28	1.5	(※)菅原	
	3月8日	秋田市赤十字奉仕団上北手分団	奉 仕 団 員	25	1	(※)稲岡	
能 代 市	9月12日	能代市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	150	1	(※)稲岡	
	2月27日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員	21	1.5	(※)稲岡	
	3月5日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員	24	1.5	(※)稲岡	
横 手 市	9月4日	日赤横手市地区大雄分区	奉 仕 団 員	62	1.5	(※)稲岡	
	3月4日	日赤横手市地区増田分区	奉 仕 団 員	32	1	(※)稲岡	
	3月6日	日赤横手市地区雄物川分区	奉 仕 団 員	47	2	(※)稲岡	
	3月7日	横手市赤十字奉仕団十文字分団	奉 仕 団 員	32	2	(※)稲岡	
大館市	10月18日	大館市大館赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	53	2	(※)稲岡	
湯沢市	3月9日	湯沢市古館町内会	一 般	15	1	(※)旋谷	
由利本荘市	6月25日	由利本荘市矢島赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	23	1	(※)稲岡	
	8月7日	由利本荘市婦人団体連絡協議会	奉 仕 団 員	96	1	(※)稲岡	
	10月17日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉 仕 団 員 一 般	75	1.5	(※)稲岡	
	3月12日	由利本荘市地域包括支援センター	一 般	28	2	(※)出雲	
大 仙 市	4月17日	協和公民館 協和ボランティア学級	一 般	42	1	(※)稲岡	
	4月27日	日赤大仙市地区大曲分区	奉 仕 団 員	33	0.5	(※)稲岡	
	7月6日	日赤大仙市地区長	奉 仕 団 員	86	1	(※)稲岡	
	11月13日	日赤大仙市地区西仙北分区	奉 仕 団 員	24	1	(※)稲岡	
	11月15日	日赤大仙市地区仙北分区	奉 仕 団 員	113	1	(※)稲岡	
	2月19日	半仙自治会	一 般	43	1.5	(※)稲岡	
北秋田市	5月1日	北秋田市・上小阿仁村連合婦人会	奉 仕 団 員	177	0.5	(※)稲岡	
にかほ市	4月25日	にかほ市社会福祉協議会	一 般	35	1	(※)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
にかほ市	5月23日	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	40	1	(※)稲岡	
	6月4日	にかほ市金浦赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	16	1	(※)稲岡	
仙 北 市	7月2日	仙北市防犯協会角館支部	一 般	21	1	(※)稲岡	
	7月10日	仙北市角館赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	65	1	(※)稲岡	
	7月11日	仙北市社会福祉協議会	児 童	66	1	(※)菅原	
	9月3日	仙北市老人クラブ広久内寿会	一 般	7	1.5	(※)菅原	
	10月2日	仙北市社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	20	1	(※)稲岡	
三 種 町	5月30日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	51	1	(※)稲岡	
	10月21日	三種町山本赤十字奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	153	1.5	(※)中山	
八郎潟町	9月13日	八郎潟町社会福祉協議会 八郎潟町ボランティア協議会	一 般	120	1	(※)稲岡	
東成瀬村	1月15日	東成瀬村赤十字奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	29	1	(※)淀谷	
計	70回			3,377	147		128

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	6月1日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	39	2	(※)稲岡
	6月14日	秋田市医師会立秋田看護学校	専 門 学 生	40	2	(※)稲岡
	6月15日	秋田市新屋下表面町 シニアレディースクラブ	一 般	13	1.5	(※)稲岡
	6月20日	県立秋田北高校あげまき会新屋支部	一 般	32	1.5	(※)稲岡
	7月3日	秋田市立広面小学校3年PTA	児 保 護 者 童 者	175	1	(※)稲岡(※)伊藤成
	8月24日	秋田県立栗田支援学校	児 保 護 者 童 者	102	2	(※)遠藤(※)菅原
	9月21日	秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	78	2	(※)稲岡(※)菅原
	9月23日	AKITA 防災キャンプフェス実行委員会	一 般	150	5	(※)渡辺
	10月13日	秋田市泉学区内町内	一 般	51	1	(※)淀谷
	10月16日	あきた中央保育園	保 護 者	61	0.5	(※)伊藤
	10月28日	秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	350	2	(※)稲岡(※)佐藤 (※)菅原
	11月15日	秋田地方検察庁	一 般	20	0.5	(※)松淵
	12月2日	秋田市上飯島町内会	一 般	18	2	(※)稲岡
	12月6日	秋田市市民生活部 中央市民サービスセンター	一 般	11	1.5	(※)稲岡
	12月12日	秋田市追分学校通り町内会	一 般	16	1.5	(※)稲岡

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	12月18日	秋田市長	一 般	52	2	(支)稲岡
能 代 市	9 月11日	能代市社会福祉協議会	一 般	9	2	(支)菅原
横 手 市	4 月18日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	32	2	(支)稲岡
	11月25日	横手市赤十字奉仕団大森分団 大森火災予防婦人会	奉 仕 団 員 一 般	23	1.5	(支)稲岡
由利本荘市	7 月13日	JA 秋田しんせい 高齢者助けあいグループ連絡協議会	一 般	52	1	(病)三浦則
	9 月27日	由利本荘市教育委員会 東由利養育学習課	一 般	42	1.5	(支)菅原
男 鹿 市	6 月24日	男鹿市打ヶ崎町内会	一 般	63	0.5	(支)稲岡
	11月18日	男鹿市船越町内連合会	一 般	93	1.5	(支)稲岡
湯 沢 市	6 月19日	県立湯沢翔北高等学校	高 校 生	20	2	(病)一関
	8 月 2 日	湯沢市長	児 保 護 者	25	1.5	(支)菅原
大 仙 市	4 月 4 日	JA 秋田おばこ南外地区女性部	一 般	42	1	(支)菅原
北秋田市	8 月27日	北秋田市合川赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	20	1	(支)稲岡
	9 月 2 日	北秋田市	一 般	261	1	(支)稲岡
にかほ市	3 月 6 日	日赤にかほ市地区	奉 仕 団 員 一 般	50	1.5	(支)菅原
潟 上 市	6 月12日	潟上市赤十字法奉仕団天王分団	奉 仕 団 員 一 般	58	1	(支)稲岡
藤 里 町	10月25日	日赤藤里町分区	生 徒 諭 教	61	1.5	(支)稲岡(病)松橋
三 種 町	9 月 7 日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	54	1	(支)稲岡(支)菅原
五城目町	7 月 5 日	もりやまこども園 もりやまこども園保護者会	保 護 者	93	1	(支)稲岡
	11月20日	あげまき会五城目支部	一 般	18	2	(支)稲岡
計	34回			2,224	52.5	

※健康生活支援講習全体で、104回、受講者数5,601人、講習時間199.5時間であった。

※指導員欄の（支）は支部職員、（病）は赤十字病院職員、（血）は血液センター職員、
（看）は日赤看護大職員、（短）は日赤短大職員、（ボ）はボランティア指導員を表す。
※支援員とは支援員養成講習（12時間）を修了し、検定の結果、合格に達したものに与
える資格である。

(3) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第 8 条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 2 月16日

会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室

参加者数	28人
研修内容	- 平成29年度の講習実施状況 - 講師研修会からの伝達事項 - 平成30年度日赤秋田県支部での講習普及状況について - 各指導員からの情報伝達 - 効果的な短期講習の検討 「別れの乳房 ～97歳赤十字看護婦の証言～」DVD視聴

4. 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4月2日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	1	(乳)水澤	
	4月26日	あきた保育園	保 育 士	14	1.5	(支)稲岡	
	5月11日	秋田駅東保育園	保 育 士	6	2	(支)稲岡	
	5月19日 5月20日	日赤秋田県支部	一 般	20	12	(支)稲岡(病)児玉(病)船木 (※)菅原	20
	5月27日	日本赤十字社秋田県支部	子 ど も	72	5	(病)一関・白鳥 (※)柴田・畠山	
	6月7日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	10	0.5	(乳)根田・保坂・水澤	
	6月8日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	6	0.5	(乳)根田・保坂・水澤	
	6月10日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	5	0.5	(乳)根田・保坂・水澤	
	6月11日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	0.5	(乳)根田・保坂・水澤	
	6月12日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)根田・保坂・水澤	
	6月12日	秋田赤十字乳児院	一 般	4	0.5	(乳)根田・保坂・水澤	
	6月14日	秋田市医師会立秋田看護学校	専 門 学 生	40	0.5	(支)稲岡	
	6月24日	秋田赤十字乳児院	職 員 一 般	15	1	(乳)根田・水澤	
	7月3日	こひつじ保育園	保 育 士	13	1.5	(支)碓谷	
	7月4日	こひつじ保育園	保 育 士	13	1.5	(支)稲岡	
	7月7日	秋田市新屋地区社会福祉協議会	一 般	55	1	(支)稲岡	
	7月17日	秋田市明徳地区児童委員 このゆびとまれ	一 般	7	1	(支)稲岡	
	7月24日 7月25日	日赤秋田短期大学	大 学 生	20	12	(支)稲岡(病)児玉・竹澤 (乳)根田(※)菅原	19
	8月1日	こどものくに保育園	保 育 士	12	2	(支)碓谷	
	8月7日	こどものくに保育園	保 育 士	13	2	(支)碓谷	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	8月24日	秋田県国公幼・こども園	保 育 士	14	1	(支)稲岡	
	8月25日	げんきっこ保育士会	保 育 士	14	1.5	(支)碓谷	
	9月5日	北保育園	保 育 士	8	1.5	(支)稲岡	
	9月20日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	18	1.5	(支)稲岡	
	9月26日	上北手保育園	保 育 士	11	1	(支)佐々木	
	9月29日	秋田赤十字病院	一 般	7	1	(病)一関・児玉・竹澤	
	10月16日	あきた中央保育園	保 護 者 士	61	0.5	(保)伊藤	
	10月18日	あきた保育園	保 育 士	12	1.5	(支)碓谷	
	11月17日	秋田駅東保育園	保 育 士	10	1.5	(支)碓谷	
	11月21日	ナーサリーふじ	保 育 士	13	1.5	(支)稲岡	
	11月22日	ナーサリーふじ	保 育 士	13	1.5	(支)佐々木	
	11月24日	秋田赤十字乳児院	一 般	16	1	(乳)保坂・根田・水澤	
	11月25日	秋田赤十字乳児院	一 般	4	1	(乳)根田	
	12月1日	秋田赤十字病院	一 般	6	1	(病)一関・白鳥・竹澤	
	12月5日	こどものいえ保育園	保 育 士	6	1.5	(支)碓谷	
	12月13日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1	(乳)根田・水澤	
	12月14日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1	(乳)根田・水澤	
	12月16日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1	(乳)根田・水澤	
	12月18日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1	(乳)根田・水澤	
	12月21日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1	(乳)根田・水澤	
	12月25日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1	(乳)根田・水澤	
	1月20日	日赤秋田県支部	高 校 生	17	2	(支)稲岡	
	1月29日 1月30日	日赤秋田看護大学	大 学 生	47	12	(支)碓谷・稲岡(病)鈴木 (病)一関・伊藤千(乳)田口 (保)伊藤	47
	1月31日	白百合保育園	保 育 士	23	1.5	(支)碓谷 (保)大内・野中	
	2月1日	白百合保育園	保 育 士	21	1.5	(支)稲岡(病)大谷 (保)野中	
	2月1日	秋田赤十字乳児院	職 員	4	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月2日	秋田赤十字乳児院	職 員	4	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月3日	秋田赤十字乳児院	職 員	4	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月4日	秋田赤十字乳児院	職 員	4	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月5日	秋田赤十字乳児院	職 員	4	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月7日	秋田赤十字乳児院	職 員	5	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月9日	秋田赤十字乳児院	職 員	3	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	2月12日	秋田赤十字乳児院	職 員	4	1	(乳)野呂・水澤・菊池 高杉・田口	
	2月13日	上北手地区子育てサークル つくしんぼ	一 般	16	2	(看)鈴木	
	2月13日 2月14日	日赤秋田看護大学	大 学 生	68	12	(支)稲岡(看)鈴木(病)児玉 (乳)菊地・高杉(ボ)菅原	67
能 代 市	5月10日	能代市子育て支援センター	保 護 者	12	1.5	(支)稲岡	
	6月16日	能代市第四保育所	保 護 者	40	0.5	(支)稲岡	
	8月25日	能代市社会福祉協議会 二ツ井町総合福祉センター	奉 仕 団 員 一 般	24	1	(支)稲岡	
	3月9日	日赤能代市地区 二ツ井町保育士会	保 育 士	25	1.5	(支)稲岡(ボ)菅原	
横 手 市	4月18日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	32	1	(支)稲岡	
大 仙 市	7月19日	大曲乳児保育園	保 護 者	68	1	(支)佐々木	
潟 上 市	8月24日	秋田県国公・こども園	保 育 士	14	1	(支)稲岡	
にかほ市	1月25日	由利本荘にかほ地区保育 士会	保 育 士	32	2	(支)碓谷	
	2月22日	由利本荘にかほ地区保育 士会	保 育 士	54	2	(支)碓谷	
仙 北 市	5月15日	仙北市民福祉課	一 般	17	1	(乳)根田	
	10月26日	仙北市民福祉課	一 般	7	1	(乳)水澤	
	3月1日	仙北市民福祉課	一 般	7	1	(支)稲岡	
上小阿仁村	11月29日	日赤上小阿仁村分区	一 般	3	1	(ボ)菅原	
五城目町	7月5日	もりやまこども園 もりやまこども園保護者会	保 護 者	93	1	(支)稲岡	
三 種 町	9月7日	森岳保育園	保 護 者	82	0.5	(支)佐々木	
大 潟 村	6月15日	日赤大潟村分区	保 護 者	68	1.5	(支)佐々木	
	7月31日	日赤大潟村分区	保 育 士	18	1.5	(支)佐々木	
計	72回			1,383	130.5		133

※講習回数72回、受講者数1,383人、講習時間130.5時間であった。

※指導員欄の（支）は支部職員、（病）は赤十字病院職員、（看）は日赤看護大職員、（短）は日赤短期大職員、（乳）は赤十字乳児職員、（ボ）はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（12時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 4月21日
会 場 秋田県社会福祉会館 2階展示室
参加者数 17人

- ・平成29年度の講習実施状況
- ・講師研修会からの伝達事項

- ・平成30年度日赤秋田県支部の講習普及の取組みについて
- ・実技の確認

(3) 指導員養成講習会

	期日	会場
説 明 研 修 会	8月18日	秋田県社会福祉会館
養 成 講 習	9月22日～24日、10月6日～7日	
新指導員 研修会	12月8日～9日	

・講師 日赤秋田県支部 稲岡一枝
 ・受講者数 18人
 ・合格者数 14人

5. 水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	7月7日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	15	1.5	(支)佐々木 (※)藤田ま	
	7月20～22日	日赤秋田県支部 赤十字水上安全法奉仕団	一 般	10	14	※別記1のとおり	8
	9月7日	勝平小学校	小 学 生	49	1	(支)松橋 (※)伊藤三	
	9月7日	勝平小学校	小 学 生	74	1	(支)松橋 (※)伊藤三	
	9月10日	高清水小学校	小 学 生	48	1	(※)三森・大塚・伊藤三	
	9月14日	旭南小学校	小 学 生	55	1	(※)大塚・伊藤三	
能 代 市	7月13日	第四小学校	小 学 生	94	1	(支)高橋・松橋 (※)大塚・秋山里	
	9月3日	第五小学校	小 学 生	57	1.5	(※)佐藤勇・糸屋幸・大塚	
横 手 市	7月23日	十文字第一小学校	小 学 生	68	1	※別記2のとおり	
由利本荘市	7月11日	由利本荘市教育委員会	小 学 生	65	1	(支)高橋・松橋(※)大塚	
	9月5日	岩谷小学校	小 学 生	83	1	(支)佐々木(※)伊藤三・大塚	
北秋田市	7月8日	日赤北秋田市地区	監 視 員	23	0.5	(※)成田・長内	
	7月8日	日赤北秋田市地区	監 視 員	23	0.5	(※)成田・長内	
にかほ市	7月5日	にかほ市教育委員会	監 視 員	10	0.5	(支)佐々木(※)大塚	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
にかほ市	7月5日	にかほ市教育委員会	監 視 員	10	0.5	(支)佐々木(※)大塚	
三種町	8月28日	琴丘小学校	小 学 生	29	1	(※)佐藤勇・大塚	
	8月29日	森岳小学校	小 学 生	79	1.5	(※)畠山邦・佐藤勇・大塚・伊藤三	
八峰町	7月17日	八森小学校	小 学 生	50	1	(※)畠山邦・佐藤勇・成田・大塚・秋山里	
	7月17日	八森小学校	小 学 生	59	1	(※)畠山邦・佐藤勇・成田・大塚・秋山里	
大潟村	6月11日	日赤大潟村分区	一 監 視 般員	15	0.5	(※)大塚・秋山里	
	6月11日	日赤大潟村分区	一 監 視 般員	15	0.5	(※)大塚・秋山里	
計	21回			931	32.5		8

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(14時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

※別記1 (病)竹澤・伊藤衣(ボ)畠山邦・佐藤勇・三森・銭谷・糸屋幸・今井・成田・大塚・荒木・秋山克・藤田ま

※別記2 (病)竹澤(ボ)畠山邦・銭谷・糸屋幸・大塚・藤田ま

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

第1回目

期 日	4月21日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール
参加者数	21人
研修内容	・講習普及方針について ・講話「救急現場で見た市民による心肺蘇生と AED の実際 ～日本赤十字社と消防による普及啓発大作戦～」
講師	秋田市消防本部 清野洋一氏
	・一次救命処置実技確認

第2回目

期 日	6月9日
会 場	秋田県立総合プール
参加者数	14人
研修内容	・救急法基礎講習の実技指導内容の確認 ・救助員養成講習の実技指導内容の確認

6. 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	2月16日	日赤秋田看護大学・短期大学 赤十字防災教育委員会	大 学 生	24	7	(病)竹澤	24
計	1 回			24	7		24

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（7時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7. 資格継続研修

平成21年度から制度化された赤十字救急法救急員等の資格継続研修を次のとおり実施した。

講 習 名	期 日	受講者数（人）	資格継続者数（人）	指導員
救 急 法	8月25日	17	17	(※)竹内・岡部
	10月21日	10	10	(※)阿部・高橋邦・土井智
	12月23日	3	3	(※)土井智・土井雅
	1月27日	49	49	(支)須藤(※)竹内
健康生活支援講習	3月2日	0	0	
水 上 安 全 法	5月6日	3	3	(※)糸屋幸
幼 児 安 全 法	1月20日	3	3	(支)稲岡
計		85	85	

8. 救急法等指導員登録状況

(平成31年3月31日現在)

講 習 別	人 数 (人)		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	35	59	94
健 康 生 活 支 援 講 習	26	8	34
水 上 安 全 法	5	25	30
幼 児 安 全 法	19	15	34
雪 上 安 全 法	1	0	1
計	86	107	193

8. 赤十字奉仕団等

1. 組織状況

(平成31年 3 月31日現在)

奉 仕 団 名		団数 (団)	団 員 数 (人)		
			男	女	計
地 域 奉 仕 団		53	5,867	15,704	21,571
特 別 奉 仕 団	青 年 奉 仕 団	5	52	85	137
	秋 田 県 点 訳 赤 十 字 奉 仕 団	1	2	6	8
	秋 田 県 赤 十 字 芸 能 奉 仕 団	1	10	57	67
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	32	2	34
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	19	6	25
	秋 田 県 赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団	1	36	23	59
	秋 田 県 赤 十 字 災 害 救 護 奉 仕 団	1	9	2	11
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	108	20	128
	特殊奉仕団 計	7	216	116	332
合 計		65	6,135	15,905	22,040

(1) 地域赤十字奉仕団

(平成31年 3 月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	S23.11.20	高 橋 知 子	13	0	0	231	231
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32. 3.26	鈴 木 一 枝	0	0	0	61	61
能 代 市 赤 十 字 奉 仕 団	S34. 4. 1	小 栗 將 子	20	72	10	419	429
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44. 7. 5	齊 藤 正 子	7	0	2	167	169
横 手 市 赤 十 字 奉 仕 団	S45. 4 .1	小棚木 美和子	5	104	22	2,311	2,333
大館市大館赤十字奉仕団	S33. 9.17	櫻 田 玲 子	10	104	0	1,350	1,350
大館市比内赤十字奉仕団	S35. 6.24	高 松 愛 子	4	0	0	665	665
大館市田代赤十字奉仕団	S36. 6. 1	佐 藤 かよ子	11	0	0	209	209
男 鹿 市 赤 十 字 奉 仕 団	S40. 4. 1	吉 田 萬里子	7	14	0	269	269
湯 沢 市 赤 十 字 奉 仕 団	S29. 4. 1	北 村 ルミ子	2	8	0	312	312
鹿 角 市 赤 十 字 奉 仕 団	S27. 6. 1	佐 藤 志保子	3	27	0	200	200
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37. 4. 1	畠 山 恵美子	2	0	0	17	17
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48. 4. 1	鈴 木 とみ子	2	0	0	70	70

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48.12. 1	藤 原 俊 子	1	0	0	65	65
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38. 4.25	阿 部 タツ子	6	0	0	37	37
由利本荘市島海赤十字奉仕団	S33. 5.31	三 森 ハ マ	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33. 6.18	土 田 典 子	1	0	0	40	40
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32. 4. 1	庄 司 和 子	0	0	15	11	26
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45.10. 1	長 根 サカエ	4	4	0	85	85
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17. 3.22	小 玉 喜久子	3	57	0	1,086	1,086
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43. 4. 1	森 川 クミ子	7	0	4,939	2,460	7,399
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33. 5.15	熊 谷 政 子	1	63	0	172	172
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30. 3.31	高 橋 トモ子	6	0	0	359	359
大仙市太田赤十字奉仕団	S30. 3.30	高 橋 千恵子	3	0	0	76	76
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37. 4. 1	寺 田 要 子	9	185	16	164	180
大仙市神岡赤十字奉仕団	S34. 4. 1	齊 藤 レ ッ	0	0	0	25	25
大仙市協和赤十字奉仕団	S33. 8. 2	佐 藤 けい子	1	0	1	124	125
大仙市南外赤十字奉仕団	S45. 4. 1	高 橋 妊 子	1	42	10	73	83
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26. 5. 1	中 嶋 洋 子	8	0	0	857	857
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37. 4. 1	小 林 節 子	27	27	0	385	385
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33.12. 2	佐々木 敬 子	16	75	0	205	205
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30. 4. 1	三 浦 浩 子	15	101	0	349	349
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62. 6. 2	白 瀬 美弥子	0	0	0	40	40
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62.11.27	村 上 和 美	0	0	0	108	108
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53. 6. 1	阿 曾 綾 子	0	0	0	14	14
仙北市角館町赤十字奉仕団	S32. 4. 1	赤 川 和 子	4	177	0	19	19
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33. 4. 1	佐 藤 リ ヨ	3	0	29	95	124
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33. 4.25	門 脇 トキヨ	1	0	0	33	33
小 坂 町 赤 十 字 奉 仕 団	S32. 4. 1	宮 崎 幸 子	1	5	1	18	19
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23. 4. 1	伊 藤 明 美	18	20	27	374	401
藤 里 町 赤 十 字 奉 仕 団	S23. 4. 1	淡 路 高 江	4	0	0	250	250
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55. 3.23	畠 山 邦 子	0	0	42	127	169

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
三種町山本赤十字奉仕団	S52. 3.14	伊 藤 ツヤ子	1	107	9	116	125
三種町八竜赤十字奉仕団	S34. 4. 1	堀 田 キミ子	5	7	0	64	64
八峰町八森赤十字奉仕団	S48. 5. 1	堀 内 澄 子	0	0	0	120	120
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43. 4. 1	武 田 えみ子	0	0	0	53	53
五城目町赤十字奉仕団	S23. 4.26	小 野 サダ子	3	3	0	74	74
八郎潟町赤十字奉仕団	S45. 7. 1	佐 藤 操	0	0	0	71	71
井川町赤十字奉仕団	S30. 2. 1	伊 藤 律 子	18	0	0	285	285
大潟村赤十字奉仕団	S44.11. 1	松 崎 信 子	1	6	0	42	42
美郷町赤十字奉仕団	H16.11. 1	森 元 博 美	3	120	95	273	368
羽後町赤十字奉仕団	S33. 9. 1	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33. 7.30	鈴 木 キミコ	16	89	309	320	629
計	53 団		283	1,482	5,867	15,704	21,571

(2) 青年赤十字奉仕団

(平成31年 3 月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S 38. 4. 1	三 浦 泰 輔	佐々木 恵 子	10	13	23
日赤秋田看護大・短大学生赤十字奉仕団	H 8.11.29	竹 内 葉 月	谷 山 有 希	2	31	33
ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団	H13. 4.26	古 川 成 吉	戸 嶋 健 人 佐々木 ゆりか	30	10	40
秋 田 県 立 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H18. 6. 1	長 沢 咲 希	渡 邊 理 子	4	25	29
秋 田 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H27 .4.26	柴 田 凌	三 島 優 輝	6	6	12
計	5 団			52	85	137

(3) 特殊赤十字奉仕団

(平成30年 3 月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S 41. 11. 1	鈴 木 敦 子	吉 田 圭 子	2	6	8
秋田県赤十字芸能奉仕団	S 42. 5. 4	小 野 敏実都	中 村 久 夫 石 塚 喜 奈	10	57	67
秋 田 県 ア マ チ ュ ア 無 線 赤 十 字 奉 仕 団	S 46. 12. 19	石 川 和 男	相 沢 喜 弥	32	2	34
秋 田 県 赤 十 字 水 上 安 全 法 奉 仕 団	S 53. 6. 10	畠 山 邦 男	銭 谷 郁 雄 小 柳 祐太郎	19	6	25
秋 田 県 赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団	S 60. 6. 28	田 口 昇	佐々木 清 志 長 内 昭 継 竹 内 健 司	36	23	59
秋 田 県 赤 十 字 災 害 救 護 奉 仕 団	H 11. 8. 28	八 代 千 春	竹 内 健 司	9	2	11
秋 田 県 青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団	H 15. 4. 1	眞井田 恭 雄	柴 田 正 臣 伊 藤 勲 齊 山 信 田	108	20	128
計	7 団			216	116	332

2. 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4 月11日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

出席者数 49人 (団員43人・特奉 6 人)

内 容 DVD上映「赤十字この1年」

①平成29年度事業概要報告

②血液事業について

③平成30年度事業計画

④その他

(2) 赤十字奉仕団中央委員会

期 日 5 月31日～6 月 1 日

会 場 日本赤十字社

出 席 者 支部委員会委員長 小玉 喜久子

(3) 赤十字ボランティア・リーダー研修会

期 日 8月25日～28日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
出 席 者 秋田市雄和赤十字奉仕団委員長 鈴木 一枝
日本赤十字秋田看護大学・短期大学 竹内 葉月

(4) 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

期 日 11月7日～8日
会 場 秋田温泉さとみ
出席者数 支地域奉仕団 93人
特殊奉仕団 5人
支部委員会 5人
指導講師 1人
内 容 ①「赤十字と奉仕活動」 支部指導講師 佐藤 勇一
②「もうひとつの終戦～今なお受け継がれる看護婦魂～」の視聴
秋田ケーブルテレビ制作
③「バングラディッシュ南部避難民救済事業実施報告」
秋田赤十字病院 企画調査課 主事 疋島 かおり
④「平成30年度赤十字ボランティア・リーダー研修会」参加者から
の報告
秋田市雄和赤十字奉仕団 委員長 鈴木 一枝
⑤「赤十字奉仕団活動状況」と「地域で役立つ知識と技術」
⑥グループディスカッション「自分たちが出来る活動について」

(5) 赤十字奉仕団支部委員会正副委員長会議

期 日 平成31年3月26日
場 所 日本秋田県支部
出 席 者 支部委員会委員長 小玉 喜久子
支部委員会副委員長 中嶋 洋子
高橋 知子
高橋 トモ子
八代 千春

3. 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア. 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・ 赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・ 献血推進事業に関する奉仕
- ・ 災害救護業務に関する奉仕
- ・ 社会福祉施設への訪問
- ・ 老人家庭での奉仕
- ・ その他社会福祉に関する奉仕

イ. その他特徴ある活動

1) 秋田県赤十字奉仕団北秋田地区大会

期 日	5 月 1 日
会 場	北秋田市民ふれあいプラザ コムコム
出席者数	北秋田市・上小阿仁村赤十字奉仕団 170人
内 容	①奉仕団活動状況報告（北秋田市鷹巣赤十字奉仕団） ②健康生活支援講習「健康寿命を延ばす生活習慣について」

2) 赤十字奉仕団活動の紹介

期 日	5 月 2 日 ※ 5 月 20 日放送
会 場	ABS ラジオ「まめだすトーク」
出 席 者	大仙市中仙赤十字奉仕団委員長 高橋 トモ子
内 容	奉仕団活動状況報告のラジオ収録

3) 日赤大仙市地区研修会

期 日	6 月 19 日
会 場	岩手県大船渡市「大船渡地区公民館」
参 加 者	大仙市地区赤十字奉仕団 51人
	地区分区担当者 8 人
	日赤秋田県支部 1 人
	大船渡市赤十字奉仕団他 26人

- 内 容 ①「あなたに助かってほしいから」
大船渡津波伝承館 館長 齋藤 健二 氏
- ②「災害に備えた食料備蓄～乾燥リング誕生の経緯～」
乾燥フルーツ COMECOME 代表 新沼 真弓 氏
- ③「大船渡市の復興状況について～大船渡駅周辺を中心に～」
大船渡市災害復興局 大船渡駅周辺設備室
主幹 藤原 秀樹 氏

4) 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日 9月12日

会 場 能代温泉「湯らくの宿のしろ」

出席者数 八峰町峰浜赤十字奉仕団 15人
八峰町八森赤十字奉仕団 15人
能代市赤十字奉仕団 75人
能代市二ツ井町赤十字奉仕団 42人
支部指導講師 1人
地区・分区職員 3人
日赤秋田県支部 1人

- 内 容 ①DVD視聴
「日赤秋田県支部創立130周年記念秋田県赤十字大会」
「皇后さま最後の全国赤十字大会」
- ②講演「私と赤十字」秋田赤十字病院名誉院長 宮下 正弘氏
- ③健康生活支援講習「健康寿命をのばすために」
- ④交流レクリエーション

5) 秋田市赤十字奉仕団創設70周年記念事業

「つなげよう！知って安心防災知識」

期 日 10月28日

会 場 秋田市「遊学舎」

出席者数 秋田市赤十字奉仕団 100人
赤十字ボランティア指導員 2人
健康生活支援講習指導員 1人

日赤秋田県支部 3 人

内 容 非常炊き出し
災害時高齢者生活支援講習

参加者数 350人

6) 日本赤十字社視察見学

期 日 平成31年1月10日

会 場 日本赤十字社

出席者数 大仙市赤十字奉仕団 8 人
(大曲 1・西仙北 2・中仙 3・太田 2)

日赤大仙市地区職員 1 人

日赤秋田県支部 1 人

内 容 本社見学 A コース (赤十字情報プラザ・7 階特別会議室等)

ウ. 施設見学等

1) 赤十字関係団体

期 日	奉 仕 団 名	人 員	内 容
6 月 25 日	由利本荘市矢島赤十字奉仕団	23	日本赤十字社秋田県支部見学 (赤十字の概要 赤十字健康生活支援講習 救援物資倉庫等)
7 月 11 日	横手市赤十字奉仕団増田分団	15	秋田赤十字乳児院見学
8 月 27 日	北秋田市合川赤十字奉仕団	20	日本赤十字社秋田県支部見学 (赤十字の概要 赤十字健康生活支援講習 救援物資倉庫等 ドクターヘリ見学 日赤秋田看護大学・短期大学見学)
10 月 30 日	由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	25	秋田赤十字乳児院見学 日赤秋田看護大学・短期大学見学
11 月 12 日	由利本荘市東由利赤十字奉仕団	11	赤十字乳児院見学
11 月 13 日	大仙市西仙北赤十字奉仕団	24	日本赤十字社秋田県支部見学 (赤十字の概要 赤十字健康生活支援講習 救援物資倉庫等 ドクターヘリ見学 日赤秋田看護大学・短期大学見学)
11 月 29 日	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	12	秋田赤十字乳児院見学
12 月 4 日	横手市赤十字奉仕団	20	日本赤十字社秋田県支部見学 (赤十字の概要 災害時の豆知識 救援物資倉庫等 ドクターヘリ見学)

期 日	奉 仕 団 名	人 員	内 容
12月19日	仙北市角館町赤十字奉仕団	29	日本赤十字社秋田県支部見学 （赤十字の概要 赤十字奉仕団活動の紹介） 救援物資倉庫等
計		179	

2) 赤十字関係団体以外

期 日	団 体 名	人 員	内 容
7月2日	仙北市防犯協会角館支部	21	日本赤十字社秋田県支部見学 （赤十字の概要 救援物資倉庫等見学 赤十字健康生活支援講習） ドクターヘリ見学
計		21	

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 青年奉仕団全国協議会への参加

期 日 4月21日～22日
会 場 日本赤十字社 本社
参 加 者 秋田大学学生赤十字奉仕団 委員長 黒澤 貴紀

イ. 青年奉仕団第1ブロック協議会の開催

期 日 6月2日～3日
会 場 日赤秋田県支部
参 加 者 秋田大学学生赤十字奉仕団 委員長 黒澤 貴紀
ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団 委員長 加藤 僚
秋田県立大学学生赤十字奉仕団 委員長 長田 尚之
日本赤十字秋田看護大学・短期大学学生赤十字奉仕団 委員長 佐々木 琉瑠
日本赤十字秋田看護大学・短期大学学生赤十字奉仕団 副委員長 五十嵐 茜

ウ. 赤十字ボランティア・リーダー養成研修会への参加

期 日 8月25日～28日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参 加 者 日本赤十字秋田看護大学・短期大学学生赤十字奉仕団
竹内 葉月

エ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「被災地での被災者支援活動」への参加

期 日 9月3日～4日
会 場 会津若松市一箕町長原仮設住宅 集会場
参 加 者 1人

オ. 団員研修会

期 日 11月10日～11日
会 場 秋田県青少年交流センター ユースパル
参 加 者 44人

カ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「東日本大震災義援金募金活動」

期 日 3月11日
会 場 秋田駅前ぽぽろード
参 加 者 4人

キ. その他

- ・定例会の実施
- ・赤十字運動月間イベントへの参加
- ・学生献血キャンペーン

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、弱視の方のために拡大複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月11日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 鈴木 敦子

ウ. 赤十字キッズタウン2018

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、点字体験コーナーを設けた。

期 日 5月27日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
参 加 者 3人
対 象 一般参加者

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月11日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 副委員長 中村 久夫

イ. 第51回愛の芸能祭

期 日 4月22日
会 場 秋田県民会館
奉仕人員 全 員

ウ. 由利本荘市婦人大会アトラクション

期 日 8月7日
会 場 由利本荘市環境改善センター
奉仕人員 15人

エ. 由利本荘市戦没者遺族地方大会アトラクション

期 日 8月24日
会 場 由利本荘市カダーレ
奉仕人員 19人

オ. 介護老人保健施設 なぎさ 慰問

期 日 9月2日
会 場 なぎさ
奉仕人員 17人

カ. 相染地区敬老会アトラクション

期 日 9月18日
会 場 相染児童会館
奉仕人員 9人

キ. 福祉総合施設 ウェルビューいずみ 慰問

期 日 9月19日
会 場 ウェルビューいずみ
奉仕人員 11人

ク. 日赤紺綬有功会会長会議アトラクション

期 日 10月4日
会 場 ホテルメトロポリタン秋田
参 加 者 9人

ケ. にかほ市社会福祉協議会高齢者大会アトラクション

期 日 10月10日
会 場 旅館いちゑ
参 加 者 14人

コ. 上小阿仁村社会福祉協議会高齢者大会アトラクション

期 日 10月10日
会 場 沖田面会館
参 加 者 13人

サ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

期 日 11月7日～8日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 石塚 喜奈

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア. 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ. 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団 名
6月17日	9：00～11：30	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
7月8日	10：00～12：00	奈良県無線・救護赤十字奉仕団
7月22日	9：00～10：00	日本赤十字社福島県防災支援奉仕団連絡協議会
7月22日	9：30～10：30 15：00～16：00	北海道無線赤十字奉仕団協議会
9月2日	9：00～11：00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
9月2日	9：30～11：00	富山県アマチュア無線赤十字奉仕団
9月2日	10：00～11：30	石川県無線赤十字奉仕団
9月8日	9：00～15：00	神奈川県無線救急赤十字奉仕団
9月9日	10：00～12：30	岩手県アマチュア無線赤十字奉仕団
9月30日	9：30～11：40	静岡県無線赤十字奉仕団
10月13日	10：00～11：00	兵庫県無線赤十字奉仕団
10月21日	9：30～10：30	長岡アマチュア無線赤十字奉仕団

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団 名
11月13日	10：00～12：00	千葉県赤十字特殊救護奉仕団
11月25日	10：00～11：30	石川県無線赤十字奉仕団
12月 1 日	9：30～11：00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
1 月12日	10：00～11：00	神奈川県無線救急赤十字奉仕団
1 月20日	10：00～11：30	大阪赤十字機動救助奉仕団
3 月10日	14：00～15：30	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
3 月10日	10：00～12：00	山梨県無線赤十字奉仕団
計		19回・15日

ウ．赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4 月11日
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参 加 者 委員長 石川 和男

エ．秋田県総合防災訓練への参加

県が主催する災害救護訓練に参加し、通信訓練を実施した。

期 日 9 月 2 日
 場 所 北秋田市役所
 参 加 者 石川 和男

4) 水上安全法奉仕団

ア．奉仕団主催講習会の実施

①支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、支部との共催で講習会を企画した。

期 日 7 月20日～22日
 会 場 秋田県立総合プール
 内 容 基礎講習＋救助員Ⅰ養成講習
 受 講 者 10人

②「みんなで "J" RC in 十文字」と称して小学校の青少年赤十字活動に寄与した。赤十字講習をはじめ、炊き出しや日赤の災害救護活動の講話など、人道について学ぶ体験プログラムを実施した。

期 日 7月23日
会 場 横手市立十文字第一小学校
内 容 着衣泳・BLS・炊き出し・赤十字災害救護活動の講話

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月11日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 畠山 邦男

ウ. 総会の実施

期 日 4月22日
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参 加 者 11人

エ. 奉仕団創立40周年記念行事

奉仕団創立40周年を記念し、講演・研修会と祝賀会を実施した。

期 日 8月4日
会 場 【講演・研修会】秋田県立総合プール
【祝賀会】秋田県青少年交流センター ユースパル
内 容 記念講演「赤十字と私」
講 師：水上安全法講師 日赤秋田県支部 佐々木芳明氏
研修「水上安全法救助員Ⅱ養成講習実技研修」
講 師：水上安全法講師 秋田赤十字病院 竹澤 雄基氏
参 加 者 【講演・研修会】12人
【祝賀会】11人

オ. 赤十字キッズタウン2018

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5月27日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 支部（災害救護）仕事体験コーナーの案内 等

参 加 者 2 人

カ. ミャンマー赤十字社救急法等普及支援事業への参加

日本赤十字社が国際活動（開発協力）として実施している支援活動に大塚貴代指導員が日赤第一ブロック（北海道・東北）からの派遣要員として参加した。

期 日 11月25日～12月 5 日

場 所 ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン他

内 容 ミャンマー赤十字社が開催する現地救急法指導員対象の研修会におけるアドバイザー

キ. 役員会の実施

期 日 3 月 9 日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 8 名

ク. その他

小学生に対する水泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し講習会を企画した。

○県北地区（能代会場）

期 日 11月23日～25日

会 場 能代ふれあいプラザ サンピノ

内 容 基礎講習＋救急員養成講習

受 講 者 基礎：10人 救急員養成：7人

○中央地区（秋田会場）

期 日 12月 8 日～ 9 日・15日

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 基礎講習＋救急員養成講習

受 講 者 基礎：23人 救急員養成：16人

○県南地区（大仙会場）

期 日 9月9日・15日～16日
会 場 大曲交流センター
内 容 基礎講習＋救急員養成講習
受 講 者 基礎：8人 救急員養成：4人

イ．赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月11日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 田口 昇

ウ．総会の実施

期 日 4月22日
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参 加 者 21人

エ．地区研修会

○県北地区

期 日 11月24日
会 場 能代市内
内 容 ①救急法講習の実技確認
②大塚貴代指導員のミャンマー赤十字社救急法等普及支援事業派遣報告
参 加 者 4人

○中央地区

期 日 12月8日
会 場 日赤研修室
内 容 放射能に関する知識について
参 加 者 6人

○県南地区

期 日 7月23日
会 場 横手市立十文字第一小学校
内 容 みんなで "J" RC in 十文字での講習指導等
参 加 者 7人

オ. 赤十字キッズタウン2018

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5月27日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 支部（災害救護）仕事体験コーナーの案内 等
参 加 者 9人

カ. ミャンマー赤十字社救急法等普及支援事業への参加

日本赤十字社が国際活動（開発協力）として実施している支援活動に大塚貴代指導員が日赤第一ブロック（北海道・東北）からの派遣要員として参加した。

期 日 11月25日～12月5日
会 場 ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン他
内 容 ミャンマー赤十字社が開催する現地救急法指導員対象の研修会におけるアドバイザー

キ. 役員会の実施

期 日 3月9日
場 所 秋田県社会福祉会館 3階日赤研修室
出 席 者 9人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月12日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 八代 千春

イ. 5月18日発生秋田県大雨被害における防災ボランティア活動

- ・5月18日 災害発生時から各団員が情報収集を実施

竹内副委員長が日赤秋田県支部業務支援

- ・5月19日 八代委員長、竹内副委員長が日赤秋田県支部業務支援

ウ. 「県民防災の日」訓練への参加

期 日 5月26日

会 場 秋田県庁第2庁舎

参 加 者 梅田 正弘

エ. 赤十字運動月間イベント「赤十字キッズタウン2018」への参加

期 日 5月27日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

参 加 者 3人

オ. 秋田県総合防災訓練への参加

期 日 9月2日

会 場 北秋田市

参 加 者 3人

内 容 ・医療救護訓練における応急救護所運営補助

・地域奉仕団による炊出し訓練における補助

カ. 防災教育事業指導者養成研修会への参加

期 日 10月27日～29日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 八代 千春

梅田 正弘

キ. その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。
- ・定期的に定例会を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月11日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 眞井田 恭雄

イ. 賛助奉仕団総会

期 日 6月15日
会 場 協働大町ビル
参 加 者 19人

ウ. 全国賛助奉仕団協議会総会

期 日 7月5日～6日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 委員長 眞井田 恭雄

エ. 賛助奉仕団協議会第1ブロック研修会北海道大会

期 日 9月12日～13日
会 場 日赤北海道支部、定山溪ホテル
参 加 者 1人

オ. 賛助奉仕団研修会

期 日 10月24日
会 場 大仙市 仙北ふれあいセンター
参 加 者 24人

力. その他

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・JRC リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者として指導にあたった。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	辻 良之	佐藤 安隆

2) 会員数

個 人	法 人	計
173人	65社	238

3) 主な活動

- ア. 平成30年度役員会 6月5日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」7人出席
3月26日 「日赤秋田県支部研修室」8人出席
- イ. 平成30年度総会 6月5日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」38人出席
(懇親会28人出席)
- ウ. 公開講演会 6月5日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」51人参加
(一般参加含)
演題 「第五十九次南極地域観測隊(夏隊)に同行して」
講師 秋田県立大曲工業高等学校 教諭 須田 宏 氏
- エ. 全国赤十字大会参会 5月16日 東京都「明治神宮会館」
参会者 烏 トキエ(秋田市)
- オ. 秋田県支部活動助成

カ. 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字トレーニングセンター参加者へ参加記念写真寄贈

キ. 日赤紺綬・有功会会長協議会総会の開催

期 日 10月4日～5日

会 場 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」

出 席 116人

ク. 新会員勧誘

平成30年1月～29年10月までの有功章受章者個人法人へ入会案内を送付

入会 個人 5人 法人 5社

ケ. 会報「有功秋田」の発行 第67号10月発行

コ. 会員の慶弔 祝電1件

サ. 記念事業資金積立

9. 青少年赤十字（J R C）

1. 組 織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

職 名	氏 名	勤 務 校 名	電話番号
会 長	佐 藤 利 正	秋田南高等学校	018-833-7431
副 会 長	小笠原 茂 人	大館東中学校	0186-42-2835
同	工 藤 絹 子	高清水小学校	018-845-0831
同	須 田 喬	美郷中学校	0187-84-2020

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地 区 名	会 長 名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	小笠原 茂 人	大館東中学校	0186 - 42 - 2835
能 代 ・ 山 本	近 藤 正 実	湊城西小学校	0185 - 52 - 2237
男鹿・潟上・南秋	今 田 喜 代	弘戸小学校	0185 - 46 - 2510
秋 田 市	工 藤 絹 子	高清水小学校	018 - 845 - 0831
由利本荘・にかほ	三 浦 章 久	石沢小学校	0184 - 29 - 2341
大 仙 ・ 仙 北	須 田 喬	美郷中学校	0187 - 84 - 2020
横 手 市	北 條 保	醍醐小学校	0182 - 25 - 4204
湯 沢 ・ 雄 勝	近 野 良 浩	湯沢東小学校	0183 - 72 - 5125

秋田県青少年赤十字指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2. 登 録 状 況

（平成30年3月31日現在）

区 分	学 校 数	メ ン バ ー 数（人）
幼 稚 園 ・ 保 育 園	4 1 園	3, 5 4 6
小 学 校	1 1 2 校	2 2, 3 1 3
中 学 校	5 2 校	9, 4 5 7
高 等 学 校	2 7 校	1, 1 6 1
計	2 3 2 校(園)	3 6, 4 7 7

3. 青少年赤十字加盟校（園）一覧

（平成31年 3月31日現在）

校種 地区	幼稚園・保育園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	計
鹿 角 大 館 北秋田		・城南・有浦・釈迦内 ・川口・上川沿・花岡・南 ・早口・鷹巣南・米内沢 ・合川・鷹巣東	・成章・東	・十和田 ・秋田北鷹	16校
		12校 2,204名	2校 456名	2校 28名	2,688名
能 代 本		・淳城西・淳城南・第四 ・第五・向能代・朴瀬 ・竹生・崇徳・鶴形・浅内 ・常盤・二ツ井・琴丘 ・下岩川・森岳・金岡 ・浜口・湖北・八森・峰浜 ・藤里	・能代第一・能代第二 ・能代東・東雲・能代南 ・常盤・二ツ井 ・琴丘・山本・八竜 ・八峰・藤里	・能代松陽 ・能代工業 ・能代西 ・能代	37校
		21校 2,902名	12校 1,682名	4校 68名	4,652名
男 鹿 潟 上 南秋田	・若美幼 ・（認）追分幼	・脇本第一・船越・弘戸 ・美里・飯田川・天王 ・追分・五城目・八郎潟 ・大潟	・男鹿南・男鹿北 ・男鹿東・潟西 ・八郎潟	・秋田西	18校・園
	2園 101名	10校 2,208名	5校 610名	1校 18名	2,937名
秋 田	・飯島幼 ・（認）こまどり幼 ・第一ルンビニ保 ・日新保・勝平保 ・あきた中央こども園 ・サン・パティ ・おおまちこども園	・高清水・日新・外旭川 ・下新城・東・桜 ・岩見三内・戸島	・秋田南 ・秋田南高校中等部 ・岩見三内	・秋田・秋田北 ・聖霊・秋田和洋女子 ・秋田工業・金足農業 ・視覚支援学校 ・秋田きらり支援学校 ・秋田クラーク高等学院	27校・園
	7園 677名	8校 3,337名	3校 615名	9校 310名	4,939名
本 荘 由 利	・本荘保	・小友・石沢・由利・西目	・矢島・西目・東由利		8校・園
	1園 154名	4校 702名	3校 314名		1,170名
大 仙 北	・（認）なかせんワイワイランド ・（認）せんぼくちびっこランド ・（認）おおたわんぱくランド ・（認）すくすくだけっこ園 ・（認）西仙あおぞらこども園 ・大曲南幼・大曲駅前こども園 ・仙南すこやか幼 ・六郷わくわく幼 ・千畑なかし幼 ・はなだて保・大曲東保 ・大曲南保・大曲北保 ・大曲中央保・大曲乳児保 ・四ツ屋保・大川西根保 ・角間川保・藤木保・内小友保 ・高畑保・みつば保・中仙東保 ・角館西保	・大曲・東大曲・花館 ・内小友・大川西根・藤木 ・四ツ屋・角間川・神岡 ・西仙北・清水・豊川 ・豊岡・中仙・協和 ・太田東・太田南・太田北 ・南外・高梨・横堀・角館 ・中川・白岩・生保内 ・神代・西明寺・桧木内 ・六郷・千畑・仙南	・大曲・大曲西・大曲南 ・平和・西仙北・中仙 ・豊成・協和・太田 ・南外・仙北 ・角館・生保内・神代 ・西明寺・桧木内 ・美郷	・大曲農業 ・大曲農太田分校 ・大曲工業 ・角館 ・秋田修英 ・大曲支援学校	79校・園
	25園 2,226名	31校 5,380名	17校 2,880名	6校 166名	10,652名
横 手	・（認）こひつじ ・（認）上宮第一幼 ・（認）上宮第二幼 ・（認）土屋幼 ・醍醐保 ・むつみ乳児保	・横手南・朝倉・旭・栄 ・横手北・増田・浅舞 ・吉田・醍醐・雄物川 ・大森・十文字第一 ・十文字第二・植田・山内 ・大雄	・横手北・横手南 ・横手清陵学院・増田 ・平鹿・横手明峰	・横手・横手城南 ・雄物川 ・横手支援学校	32校・園
	6園 388名	16校 3,869名	6校 1,895名	4校 569名	6,721人
湯 沢 雄 勝		・湯沢東・湯沢西・山田 ・川連・雄勝・皆瀬 ・西馬音内・羽後明成 ・高瀬・三輪	・湯沢北・湯沢南・雄勝 ・羽後	・湯沢	15校
		10校 1,711名	4校 1,005名	1校 2名	2,718名
計	41園 3,546名	112校 22,313名	52校 9,457名	27校 1,161名	232校・園 36,477名

4. 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会（第1回）

期 日 5月8日

会 場 秋田県社会福祉会館

出席者 会長・理事（県内各地区代表）9人

(2) 指導者研修会

期 日 5月22日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 県内青少年赤十字指導者10人

(3) リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

期 日 5月25日～27日

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 阿部 則夫（横手市立増田中学校教諭）

(4) 全国指導者協議会総会

期 日 6月28日～6月29日

会 場 日本赤十字社 本社

参加者 指導者協議会会長 佐藤 利正（秋田県立秋田南高等学校校長）

(5) リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 7月28日～7月29日

会 場 秋田県青少年交流センター

出席者 中学生・高校生22人、スタッフ13人

(6) 一日リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 9月29日

会 場 湯沢市立湯沢東小学校

参加者 小学生高学年17人、スタッフ9人

(7) 第1ブロック指導者研究会

期 日 10月30日～10月31日

会 場 山形グランドホテル

参加者 鈴木 伸彦（能代市立淳城西小学校教頭）

齊藤 憲子（秋田市立高清水小学校教諭）

(8) 指導者協議会理事会（第2回）

期 日 11月27日

会 場 秋田県社会福祉会館

出席者 会長・理事 9 人

(9) 青少年赤十字研究会（指導主事対象）

期 日 平成31年 1 月 9 日～10日

会 場 日本赤十字社 本社

出席者 秋田県教育庁北教育事務所指導主事 山木 亮

5. 青少年赤十字研究推進校

学 校 名	男鹿市立弘戸小学校	横手市立増田中学校
委嘱年度	平成29～30年度	平成30～31年度
研 究 テ ー マ	・ 青少年赤十字活動を通して、『気づき考え、 実行する』子どもの育成」	・ 「 命と健康を大切に社会のため、人のた めに奉仕し福祉に貢献しようとする生徒の 育成 」～他と豊かに関わり、自ら気づき・ 考え・実行できる生徒に～

6. 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会

期 日 6 月17日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 加盟各高校代表者43人

(2) 高校協議会研修会（健康安全プログラム）

期 日 9 月 1 日、12 月 8 日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 9 月 1 日 高校生 5 人、12 月 8 日 高校生 5 人

(3) 高校協議会研修会（幼児安全法講習会）

期 日 1 月20日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 高校生17人

(4) 青少年赤十字国際交流集会

期 日 11月22日～25日

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 県立秋田北高等学校 2 年 久米 ヨシノ

(5) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期 日 12 月 2 日

会 場 秋田駅ぽぽろード

参加者 秋田地区高校 JRC14人

(6) 高校協議会体験研修（赤十字乳児院ふれあい体験）

期 日 3月22日

参加者 高校生 8人

(7) 青少年赤十字スタディー・センター

期 日 3月22日～26日

会 場 山梨県山中湖村

参加者	私立聖霊女子短期大学附属高等学校	1年	菅原	彩夏
	県立秋田北高等学校	2年	佐藤	安侑子

7. 機関誌の発行

- (1) 「青少年赤十字秋田第37号」を発行

10. 社 旨 普 及

1. 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数（部）	配 布 先
赤 十 字 N E W S	30,400	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	400,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	15,000	各地区・分区の奉仕者
パンフレット（要覧）	28,000	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	60,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校、献血者 他

2. 報道機関等を通じての広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載13社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5／1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5～7月に本社作成の運動月間用スポット及び支部で作成した広報用 スポットを使用
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	

- ・ラジオ（有線放送）の放送

局 名	広 報 内 容
(株) 秋 田 放 送	5月の赤十字運動月間中に本社作成の運動月間周知並びに会員増強 をテーマとしたラジオスポットを使用
(株) エ フ エ ム 秋 田	
N H K 秋 田 放 送 局	
秋田コミュニティー放送(株)	
井川町〔有線〕	
潟上市地区〔有線〕	

3. イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設がタイアップし次のイベントを実施した。

(1) 赤十字キッズタウン2018 ～赤十字のお仕事を体験しよう！～

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

期 日 5月27日

内 容

- ・子どもの赤十字のお仕事体験コーナー
- ・赤十字PRコーナー
- ・炊き出し体験コーナー
- ・救急法・幼児安全法コーナー
- ・災害救援車両等展示コーナー
- ・点字体験コーナー
- ・ドクターヘリ見学

(2) レッドライトアッププロジェクト2018

①場 所 ポートタワーセリオン

期 日 5月1日～31日

②場 所 玉川ダム

期 日 5月8日

内 容 県民の皆さまに赤十字を知っていただくとともに「人道」への理解を深めていただくことを目的に、ランドマークとなる施設等に参加いただき、赤くライトアップする。

4. インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。

ホームページアドレス等については次のとおり

ホームページアドレス	http://www.akita.jrc.or.jp
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	・行事紹介 ・事業紹介 ・赤十字講習の受付 ・赤十字の歴史 ・赤十字マークについて ・義援金（受付状況） 等

11. 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

平成30年度は、「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努め、また、赤十字の使命である災害医療救護に取り組んで、地域の信頼を得る」を指針とし、施策に、

1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療構想に基づく方向性の検討、を掲げた。

1) 当院が掲げる、安心して安全な質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、出動件数が313件、要請件数は531件と過去最高を記録した。

2) 災害医療救護は、支部の要請を受け、平成30年7月の西日本豪雨災害に、こころのケア班を、また、9月の北海道胆振東部地震に、DMAT、救護班、こころのケア班を派遣した。それぞれが被災者に寄り添った十分な活動を行った。

3) 病院経営健全化のため、診療稼働を上げる努力と費用削減の努力を求めた結果、職員の意識が向上した。平成30年度は高いDPC係数を得たのと、病院としての役割から、入院医療に重きを置き、病床利用率を高めるよう指示した。その結果、後述のごとく病院収支として黒字を計上できた。

4) 病院機能として高度急性期・急性期の医療を目指し、実行している。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関から前年比363人増の初診時6,411人の紹介を受け（紹介率60.1%）、その後、逆紹介した（逆紹介率86.1%）。

2 医療活動

医師数は100名を超えるが、診療科による偏在があり、県内外から多くの医師の応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科においては、県内の医療機関から要請があれば応えるようにしており、平成30年度は23箇所の医療機関に医師を応援派遣した。

許可病床数は480床で、一般医療が344床、県の委託を受けて運営する政策医療が136床（救命救急50床、周産期56床、神経病30床）である。標榜科は30科であり、病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターを有している。

平成30年度の入院患者数は延べ142,609人と前年度に比べて1,072人増加した。一日平均入院患者数も前年度の388人から391人に増加した。病床利用率は 87.8%（前年度比0.7%増）だった。平均在院日数は12.7日と0.2日延長した。外来患者数は延べ185,101人で前年度の184,874人よりやや増加した。患者の地域別割合では、秋田市が外来、入院とも約4分の3であり、その他、前年度と変わりなかった。

救急患者数は15,725人で前年度とほぼ同数だったが、救急からの入院が前年度より58人増加した。救急車による搬送数は前年度の2,870件から3,053件に増加した。

分娩数は847件で前年度より43件減少した。手術室で行われた手術件数は3,595件で前年度より64件増加し、全身麻酔手術数は2,012件で109件増加した。

人間ドックなどの健診事業については、本院では10,599人、あきた健康管理センターでは11,592人、併せて22,191人（前年度比823人減）の健診を行った。

診療稼動額は、入院が90億 7 千万円（前年度比 3 億 5 千万円の増）、外来36億円（前年度比 1 億 3 千万円の増）だった。診療単価は、入院63,659円（2,027円の増）、外来19,483円（674円の増）だった。病院収支としては、収入が147億 4 千万円（前年度比 5 億 5 千万円の増）、支出が145億 2 千万円（前年度比 1 億 5 千万円の増）であり、収支として 2 億 2 千万円の黒字となった。令和元年度も引き続き病院収支を黒字にしなければならない。

3. 平成30年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	1,015	2,945	1,013	7,914	11,241	15,255
外来	3,485	14,629	8,380	4,136	9,272	10,572

	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入院	6,987	6,172	8,727	2,110	0	2,583
外来	6,648	12,026	8,025	1,704	6,695	6,779

	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	整形外科
入院	5,865	15,107	2,932	2,608	0	19,191
外来	500	9,242	7,212	1,706	437	15,167

	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科
入院	1,621	4,932	2,222	4,256	9,470	3,668
外来	5,443	2,590	6,943	11,587	8,188	7,944

	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入院	197	2,992	0	1,586	
外来	3,198	11,550	792	251	

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	426	232	15	179	134	292	40
急病	12,559	2,249	45	10,265	2,733	9,826	1,926
その他	2,740	572	51	2,117	772	1,968	247
計	15,725	3,053	111	12,561	3,639	12,086	2,213

	患者の状況				
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡
交通事故	360	2	56	2	6
急病	9,495	113	2,862	21	68
その他	2,173	18	530	9	10
計	12,028	133	3,448	32	84

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	847	
出生	862	
手術	3,595	手術室におけるもの
死亡	497	外来死亡84件含む
剖検	11	剖検率 2.7%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	6,263	1,644	295	1,960	61	319	57

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	351	12	87	0	0

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	989	877	693	1,219	6

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋田市	25,707	73.46%	5,536	71.40%	31,243
鹿角市・郡	39	0.11%	9	0.12%	48
大館・北秋	596	1.70%	131	1.69%	727
能代・山本	581	1.66%	122	1.57%	703
男鹿・南秋	2,225	6.36%	457	5.89%	2,682
由利・本荘	1,093	3.12%	298	3.84%	1,391
大曲・仙北	3,341	9.55%	743	9.58%	4,084
横手・平鹿	370	1.06%	106	1.37%	476
湯沢・雄勝	207	0.59%	37	0.48%	244
県外	834	2.38%	315	4.06%	1,149
総合計	34,993	100.00%	7,754	100.00%	42,747

秋田市内訳

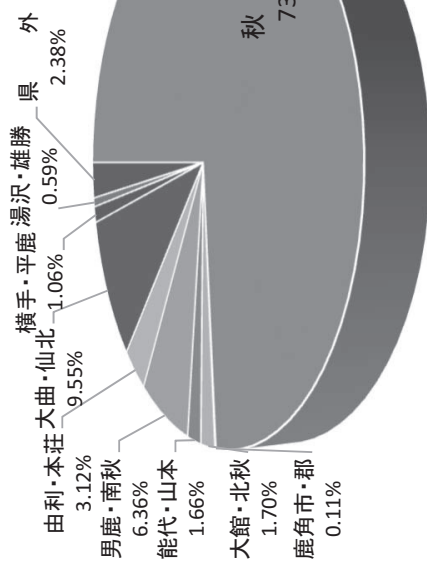
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中央地区	3,538	13.76%	751	13.57%	4,289
東部地区	6,237	24.26%	1,367	24.69%	7,604
西部地区	2,165	8.42%	474	8.56%	2,639
南部地区	8,378	32.59%	1,679	30.33%	10,057
北部地区	2,032	7.90%	390	7.04%	2,422
河辺・雄和	3,357	13.06%	875	15.81%	4,232
秋田市合計	25,707	100.00%	5,536	100.00%	31,243

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

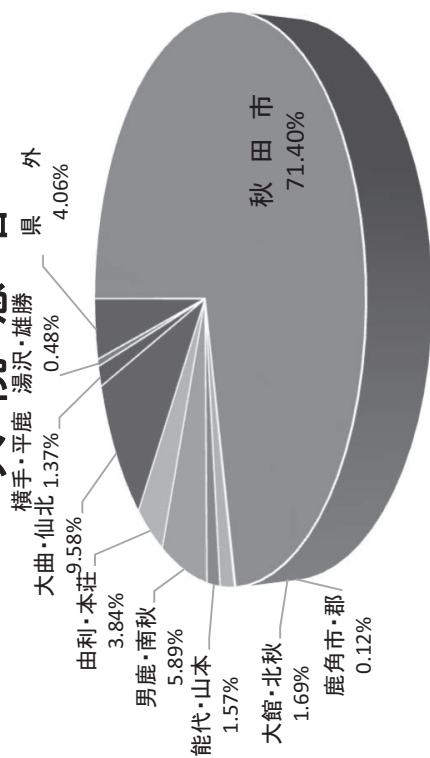
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	2,242	1,658	7,253	319	120	0

全患者内訳

外来患者

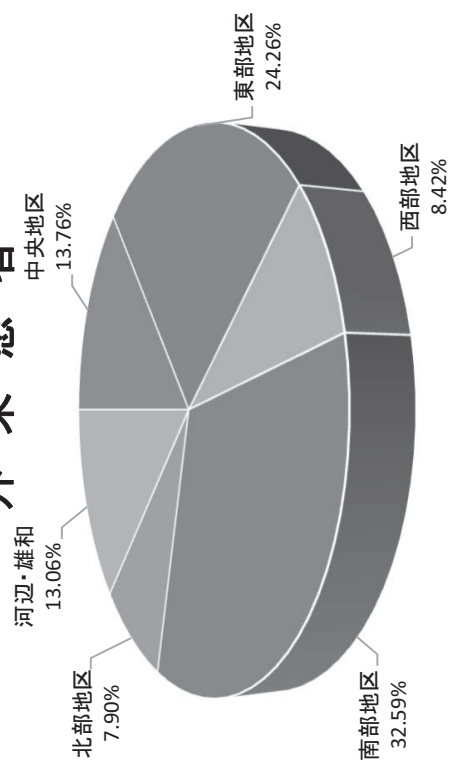


入院患者

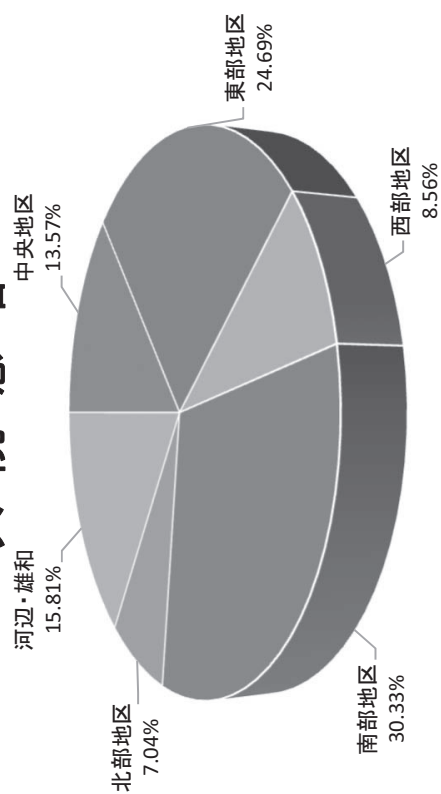


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12. 血 液 事 業

(秋田県赤十字血液センター)

1. 概 要

輸血用血液製剤および血漿分画製剤の多くは高齢者の医療に使われており、輸血を必要とする患者さんの約85%は50歳以上の方々と、その輸血には献血が欠かせません。一方、献血いただいている方の約70%は50歳未満で、そのうち若年層（10～30代）の献血は減少傾向にあります。

秋田県は、少子高齢社会と人口減少率全国1位と相まって、年々献血を推進する環境は厳しい状況にあります。

このような中、東北ブロック6県においては同様の問題を抱える県が複数あることから、献血者確保対策として平成28年度から段階的に、供給計画を基本とする自給自足的な採血計画から生産年齢人口の割合に応じて各県に按分する採血目標としたことで、安全な血液の安定した輸血用血液製剤を供給するための大きな改革を実施しています。

平成30年度の管内（弘前供給出張所から供給される大館鹿角地域を除く）医療機関での血液製剤供給見込158,500単位（赤血球：50,000単位、血漿：10,500単位、血小板：98,000単位）を東北ブロックで集約し血漿分画製剤用原料血漿確保量を加えた必要量に対して按分された献血目標は38,472人（200mL献血：1,079人、400mL献血：25,545人、成分献血：11,848人）になります。

秋田市のイオンモール秋田に開所していた御所野出張所（献血ステーション）を平成29年3月に閉所したことで、現在の献血受入は血液センター（献血パークるうぷ）と秋田市中通（アトリオン献血ルーム）の2か所と県内各所を巡回する献血バスで行っています。平成30年度においては受入施設の認知度アップと献血の啓発を兼ねて、AKB48 Team 8 秋田県代表 谷川聖さんに「献血推進ガール」を委嘱し、特に若年層の方にアピールしてきました。また、献血に参加しやすい休日の街頭献血を定点献血とし地域のスーパーやショッピングセンターにおいて定期的に実施することで、各市町村における献血参加を広めていきました。また、各地域の献血運動推進においては、地域住民の協力が必須であることから、献血推進協力団体であるライオンズクラブや婦人会、赤十字奉仕団、学生等の協力を得ています。

この対策の中での平成30年度の献血実績は、35,243人（200mL献血：1,015人、400mL献血：23,994人、成分献血：10,234人）で、目標に対して3,229人（91.6%）足りない結果となりました。

要因としては、これまで街頭献血や大学等のまとまった献血者数を得ていた献血会場の実績が思うように振るわなかったことが上げられます。なお、医療機関への供給は、赤血球：48,804単位、血漿：11,545単位、血小板：77,990単位の合計138,339単位と計画158,500単位に対して－20,161単位の87.3%と計画を下回ったものの、管内医療機関には必要なときに必要な分をお届けしました。

なお、大館鹿角地域の医療機関には8,555単位（赤血球：4,276単位、血漿：594単位、血小板：3,685単位）をより早くお届けできる弘前供給出張所から供給しました。

2. 平成30年度実績

(1) 平成30年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	1,079	1,015	△ 64	94.1%
400 mL 献 血	25,545	23,994	△ 1,551	93.9%
成 分 献 血	11,848	10,234	△ 1,614	86.4%
合 計	38,472	35,243	△ 3,229	91.6%
献 血 量 (L)	15,671.0	13,384.2	△ 2,286.8	85.4%

(2) 平成30年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	平成30年度実績	平成29年度実績	増 減	前 年 比
200 mL 献 血	1,015	669	346	151.7%
400 mL 献 血	23,994	23,064	930	104.0%
成 分 献 血	10,234	10,461	△ 227	97.8%
合 計	35,243	34,194	1,049	103.1%
献 血 量 (L)	13,384.2	13,347.1	37.1	100.3%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
申込者数	総数		3,062	3,342	3,656	3,543	3,315	3,247	3,412	3,385	3,574	3,233	3,159	3,332	40,260	100.0%
	男		2,089	2,323	2,528	2,412	2,256	2,157	2,238	2,360	2,469	2,207	2,140	2,286	27,465	68.2%
	女		973	1,019	1,128	1,131	1,059	1,090	1,174	1,025	1,105	1,026	1,019	1,046	12,795	31.8%
献血者数	総数		2,661	2,887	3,204	3,082	2,913	2,848	2,916	2,933	3,154	2,918	2,805	2,922	35,243	87.5%
	男		1,963	2,174	2,369	2,245	2,140	2,045	2,096	2,208	2,327	2,095	2,030	2,157	25,849	64.2%
	女		698	713	835	837	773	803	820	725	827	823	775	765	9,394	23.3%
献血できなかった人数	総数		401	455	452	461	402	399	496	452	420	315	354	410	5,017	12.5%
	男		126	149	159	167	116	112	142	152	142	112	110	129	1,616	4.0%
	女		275	306	293	294	286	287	354	300	278	203	244	281	3,401	8.4%
内訳	総数		240	253	267	267	218	235	306	236	273	171	217	237	2,920	58.2%
	男		48	50	57	57	35	37	64	51	60	29	38	44	570	11.4%
	女		192	203	210	210	183	198	242	185	213	142	179	193	2,350	46.8%
その他	総数		161	202	185	194	184	164	190	216	147	144	137	173	2,097	41.8%
	男		78	99	102	110	81	75	78	101	82	83	72	85	1,046	20.8%
	女		83	103	83	84	103	89	112	115	65	61	65	88	1,051	20.9%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数・献血できなかった人数の割合は、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目 保健所	合 計			全 血 献 血				成 分 献 血				献 血 量 (L)		
	目 標 数	申込者数	目 標 率 達成率	日 標 数	申込者数	献 血 者 数		日 標 率 達成率	日 標 数	申込者数	献血者数	目 標 数	献 血 量	目 標 率 達成率
						200mL 献 血	400mL 献 血	計						
大 館 保 健 所	2,763	3,162	96.1%	2,763	3,162	140	2,516	2,656	96.1%	0	0	1,080.6	1,034.4	95.7%
北 秋 田 保 健 所	918	993	92.4%	918	993	30	818	848	92.4%	0	0	359.6	333.2	92.7%
能 代 保 健 所	1,913	1,905	84.3%	1,913	1,905	46	1,566	1,612	84.3%	0	0	742.6	635.6	85.6%
秋田中央保健所	1,237	1,225	84.1%	1,237	1,225	15	1,025	1,040	84.1%	0	0	479.4	413.0	86.1%
由利本荘保健所	2,024	2,227	93.5%	2,024	2,227	111	1,782	1,893	93.5%	0	0	780.8	735.0	94.1%
大 仙 保 健 所	2,805	3,025	92.4%	2,805	3,025	76	2,516	2,592	92.4%	0	0	1,089.0	1,021.6	93.8%
横 手 保 健 所	2,354	2,629	93.5%	2,354	2,629	150	2,052	2,202	93.5%	0	0	910.8	850.8	93.4%
湯 沢 保 健 所	1,646	2,002	102.9%	1,646	2,002	72	1,622	1,694	102.9%	0	0	641.2	663.2	103.4%
秋 田 市 保 健 所	22,812	34,142	90.8%	10,964	23,092	375	10,097	10,472	95.5%	11,848	10,234	9,940	7,182.6	72.3%
合 計	38,472	51,310	91.6%	26,624	40,260	1,015	23,994	25,009	93.9%	11,848	10,234	16,024	12,869.4	80.3%

※秋田市保健所には、献血パークるうぶ、アトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

性別 年齢	献 血 者 数			男 性			女 性		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
16 ～ 19歳	799	971	128	1,898	5.4%	230	700	73	1,003
20 ～ 29歳	204	4,386	1,378	5,968	16.9%	14	3,272	849	4,135
30 ～ 39歳	9	4,651	2,087	6,747	19.1%	1	3,534	1,401	4,936
40 ～ 49歳	2	6,429	3,089	9,520	27.0%	0	4,971	2,322	7,293
50 ～ 59歳	1	5,563	2,500	8,064	22.9%	1	4,168	1,949	6,118
60 ～ 69歳	0	1,994	1,052	3,046	8.6%	0	1,487	877	2,364
計	1,015	23,994	10,234	35,243	100.0%	246	18,132	7,471	25,849

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

性別 職業	献 血 者 数			男 性			女 性		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
公 務 員	27	4,747	1,615	6,389	18.1%	2	4,079	1,427	5,508
会 社 員	86	13,101	5,379	18,566	52.7%	12	10,426	4,196	14,634
高 校 生	652	267	45	964	2.7%	215	199	30	444
大 学 生	165	833	305	1,303	3.7%	9	531	205	745
そ の 他	85	5,046	2,890	8,021	22.8%	8	2,897	1,613	4,518
計	1,015	23,994	10,234	35,243	100.0%	246	18,132	7,471	25,849

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況

(単位：本)

年 度 製剤名	平成30年度	平成29年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	48,804	48,970	△ 166
血 漿 製 剤	11,545	11,454	91
血 小 板 製 剤	77,990	84,835	△ 6,845
合 計	138,339	145,259	△ 6,920

(注)数値は200mL換算数である。

(8) 他都道府県血液センターとの需給調整状況

<受入>

(単位：本)

年 度 製剤名	平成30年度	平成29年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	1,789	1,074	715
血 漿 製 剤	251	508	△ 257
血 小 板 製 剤	2,130	3,630	△ 1,500
合 計	4,170	5,212	△ 1,042

(注)数値は200mL換算数である。

<払出>

(単位：本)

年 度 製剤名	平成30年度	平成29年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	1,462	1,599	△ 137
血 漿 製 剤	715.0	783.0	△ 68
血 小 板 製 剤	1,735	2,540	△ 805
合 計	3,912	4,922	△ 1,010

(注)数値は200mL換算数である。

13. 乳 児 院 の 運 営

(秋田赤十字乳児院)

1. 概 要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は母の病気等によるものであるが、ここ数年増えているのが虐待を受けた子どもたちの入所であり、入所児の約3分の1以上を占めている。また、30年度、一時保護委託を受けた件数は22件であり、前年度よりも12件増加した。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、入所児童の家庭復帰を最優先とした保護者支援を行っており、30年度退所した19人のうち家庭復帰となった子どもは12人で、退所児童の6割強となった。一方、家庭復帰できない子どもたちのため、里親制度の推進にも力を入れている。秋田県から受託している里親トレーニング事業（計10日間の実習）は6組の里親を対象に実施し、里親制度普及促進事業では、県内で初となる「里親制度普及啓発ポスター展」を秋田公立美術大学と共同で開催した。その甲斐もあり、30年度に新規里親登録したのは14組と平成11年度以降最多となった。

さらに、地域に必要とされる施設を目指しており、子育て支援事業の充実や中学生・高校生等の体験学習、日赤看護学生・保育士・栄養士の実習生、ボランティアなどの受け入れも当院の特色と考え推進している。

2. 利 用 状 況

(平成31年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

入 所 人 数		退 所 先 及 び 退 所 人 数				年 度 未 在 所 人 数 (A + B - C)
前年度からの 入所数 (A)	新規入所数 (B)	家 庭	里 親	他 施 設	計 (C)	
22	27	12	4	3	19	30

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

虐 待	父母の疾病	離 婚	婚 外 出 産	未 婚	その他	計
13	8	2	1	1	2	27

(3) 市町別在所状況

(単位：人)

大館市	北秋田市	能代市	潟上市	秋田市	由利本荘市	大仙市	仙北市	横手市	湯沢市	東成瀬村	計
2	2	4	1	9	1	2	1	4	1	3	30

3. 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
前年度からの入所	24	27	28	24	22
入 所	11	17	15	20	27
退 所	8	16	19	22	19
年 度 末 人 数	27	28	24	22	30

4. 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8:30~23:00	120件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
デ イ ケ ア	65人
シ ョ ー ト ス テ イ	21人
プ レ マ マ サ ロ ン	42人
育児サークル「愛あいクラブ」	56人

5. 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対 象 児
お 花 見	4月24日	広 面 近 隣 公 園	16人
こどもの日	5月5日	院 内	全 員
院 外 保 育	5月23日	大 森 山 動 物 園	5 人
院 外 保 育	6月21日	大 森 山 動 物 園	5 人
七夕まつり	7月7日	院 内	全 員
院 外 保 育	8月9日	秋 田 県 中 央 地 区 老 人 福祉総合エリア（プール）	10人
運 動 会	9月8日	院 内	全 員
お 月 見	9月24日	院 内	全 員
院 外 保 育	10月16日	大 森 山 動 物 園	4 人
ハロウィン	10月25日	院 内	全 員
クリスマス会	12月25日	院 内	全 員
お 正 月	1月1日	院 内	全 員
節 分	2月1日	院 内	全 員
ひなまつり	3月1日	院 内	全 員

6. ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	23人（延人数203人）
団 体	16団体（延人数376人）

7. 苦情件数

件 数
1 件

8. 幼児安全法講習会の開催

単位：人

開催日	受講者数(人)	対 象
4月2日	2	職 員
6月7日	10	職 員
8日	6	職 員
10日	5	職 員
11日	2	職 員
12日	7	職員・一般
24日	15	一 般
11月24日	16	一 般
25日	4	一 般
12月13日	3	職 員
14日	3	職 員
16日	3	職 員
18日	3	職 員
21日	3	職 員
25日	3	職 員
2月1日	4	職 員
2日	4	職 員
3日	4	職 員
4日	4	職 員
5日	4	職 員
7日	5	職 員
9日	3	職 員
12日	4	職 員
合 計	117	

14. 日本赤十字社秋田県支部現勢 (平成31年 3 月31日現在)

1. 沿 革

明治20年（1887）11月 3 日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年（1896） 7 月 1 日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年（1952）10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2. 会員数（含：協力会員） 個人 175,181人
法人 699社

3. 評議員 29人

4. 役 員

支 部 長 佐竹 敬久
副 支 部 長 堀井 啓一・穂積 志
本社理事・代議員 佐々木義広
本社代議員 野口 良孝・三戸 俊彦
江畑 佳明
支部監査委員 新谷 明弘・斉藤 永吉

5. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	メンバー数
幼稚園・保育園	41 園	3,546人
小 学 校	112 校	22,313人
中 学 校	52 校	9,457人
高 等 学 校	27 校	1,161人
計	232校（園）	36,477人

6. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	団員数
地 域	53団	21,571人
青年（学生）	5団	137人
特 殊	7団	332人
計	65団	22,040人

7. 秋田県赤十字有功会員 個人 173人
法人 65社

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	207回	7,987人	94人
健康生活支援	104回	5,601人	34人
水上安全法	21回	931人	30人
幼児安全法	72回	1,383人	34人
雪上安全法	1回	24人	1人
計	405回	15,926人	193人

9. 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業（資金援助）
救急法普及支援事業
（カンボジア・ミャンマー・東ティモール・ネパール・バヌアツ）
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10. 災害救護

災害対策本部要員	11人	
救護班要員	9班	66人
血液供給要員	3 人	
無線局（基地局含）	150MHz	33局
	400MHz	24局
救護車両	6 台	
備蓄救援物資	毛 布	2,640枚
	緊急セット	1,626個
	安眠セット	569個

11. 医療事業（秋田赤十字病院）

内 訳	総 病 床 数	480床
	一般医療	344床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
入 院	神経病医療	30床
	入 院	142,609人
外 来	1 日平均	390.7人
	外 来	185,101人
	1 日平均	758.6人

12. 血液事業（秋田県赤十字血液センター）

献血ルーム	2（血液センター、アトリオン献血ルーム）	
移動採血車	3 台	
献血者数（延人数）	供給本数（200mL 献血由来換算）	
200mL献血 1,015人	赤血球製剤	48,804本
400mL献血 23,994人	血漿製剤	11,545本
成分献血 10,234人	血小板製剤	77,990本
計 35,243人	計	138,339本

13. 社会福祉施設（秋田赤十字乳児院）

定 員	30人
年度末在所児童数	30人

14. 職員数（嘱託・臨時職員等は除く、平成31年4月1日現在）

日本赤十字社秋田県支部	9人
秋田赤十字病院	739人
秋田県赤十字血液センター	52人
秋田赤十字乳児院	20人
計	820人

15. 会計（平成31年度当初予算）

支 部	176,755千円	
病 院	収益の収入	14,642,085千円
	収益の支出	14,556,686千円
乳 児 院	歳 入	366,595千円
	歳 出	333,712千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <http://www.akita.jrc.or.jp>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp>

附属あきた健康管理センター

〒010-0001 秋田市中通三丁目4番23号
TEL 018 (832) 1601 FAX 018 (832) 1603

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通2丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案 内 図>



